

教育課程委員会報告

「教育課程」に関する調査

- I 教育課程について
- II 学校改革について
- III 産学連携・地域連携について
- IV 学習指導・評価について

(令和5年10月)



# 目 次

まえがき	1
研究の目的	2
研究の経過	2
調査報告	3
I 教育課程について	3
○ 調査目的	
1 教育課程の実施について	
(1) 編成上の基本的な考え方について	
(2) 取り組む内容について	
(3) 卒業までの履修単位について	
(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について	
(5) 進学希望者の指導について	
(6) 大学入試について	
(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて	
(8) 遠隔システムについて	
(9) GIGAスクール構想に伴う情報機器の整備について	
2 まとめ	
II 学校改革について	16
○ 調査目的	
1 学校改革・活性化について	
(1) 学校改革・学校活性化について	
(2) 職員の意識改革について	
(3) 長期休業期間について	
(4) 学校目標・学校評価・グラウンドデザインについて	
2 まとめ	
III 産学連携・地域連携について	20
○ 調査目的	
1 インターンシップについて	
(1) インターンシップの実施について	
(2) 実施している学校の実施内容について	
(3) インターンシップが実施できない理由について	
(4) 2022年度以降の実施対象者について	
2 デュアルシステムについて	
(1) デュアルシステムの実施について	
(2) デュアルシステムの実施内容について	
(3) デュアルシステムを実施していない学校の実施上の問題点について	
3 地域との連携について	
(1) 生徒による地域活動について	
(2) 実施している学校の実施内容について	
(3) 地域の力を生徒の技術指導に生かすことについて	
(4) 実施している学校の実施内容について	
(5) 総合的な探究の時間（又は課題研究）における地域や外部機関との連携について	

4	高・大学等連携について	
	(1) 大学や専門学校等との連携の実施について	
	(2) 実施している学校の実施内容について	
5	学校開放講座について	
	(1) 学校開放講座の実施について	
	(2) 実施している学校の実施内容について	
6	まとめ	
<b>IV</b>	<b>学習指導・評価について</b> .....	<b>30</b>
○	調査目的	
1	授業評価について	
	(1) 生徒による授業評価について	
	(2) 実施している学校の授業への還元について	
	(3) 地域の人や保護者による授業評価について	
	(4) 取り組んでいる学校の授業への還元について	
2	学習評価の改善について	
	(1) 学校全体での改善について	
	(2) 改善のための体制づくりについて	
	(3) 評価指標や評価方法について	
	(4) 観点別評価について	
3	まとめ	
<b>あ</b>	<b>と が き</b> .....	<b>33</b>
<b>資</b>	<b>料</b> .....	<b>35</b>

## ま え が き

全国工業高等学校長協会の教育課程委員会は、令和5年度から九州地区より引継ぎ中国地区が担当になり、研究を開始しました。本委員会では、教育課程の編成、学校改革、産学連携、学習指導等についてアンケートを実施し、各学校がどのように工業教育を実践しているかを集約・分析し、今後の工業教育推進に資するように調査・研究を行うものです。

これまで、工業教育においては、平成7年に文部科学省が提唱した「スペシャリストへの道」をもとに、将来のスペシャリストの育成に取り組んできました。全国工業高等学校長協会では、平成17年度に「全国工業教育理念検討委員会」が最終報告をまとめ、工業教育の指針を示しています。平成25年度からの高等学校学習指導要領より、専門高校は、①将来のスペシャリストの育成、②地域産業を担う人材の育成、③人間性豊かな職業人の育成に取り組んできました。そして、平成30年3月に改訂された高等学校学習指導要領が、年次進行での実施が始まり、今年度で2年目を迎えました。

このたびの調査は、新・旧の学習指導要領が移行する期間の工業教育等に関して、調査・分析したものです。新学習指導要領が実施されたことに伴い、すでに各校においては、新しい取り組みや実践がスタートしているものと考えことから、その新しい取り組みや実践についても調査・分析を行いました。

本委員会では、年度初めのアンケート結果を地域別にまとめ、表とグラフで示すとともに、各アンケート項目についてコメントし、大項目ごとにその概要をまとめました。各高等学校におかれましては、将来の学校像を検討し、特色ある学校づくりや開かれた学校づくりをするうえで、この調査結果を参考にし、役立てていただければ幸いです。

本調査に御協力いただいた会員校の関係各位に御礼を申し上げます。

委員長	佐々木 雅 典	島根県立松江工業高等学校長
副委員長	松 原 紀 夫	島根県立出雲工業高等学校長
委員	小 嶺 和 隆	島根県立江津工業高等学校長
委員	福 井 文 生	島根県立益田翔陽高等学校長

令和5年10月

公益社団法人 全国工業高等学校長協会  
調査研究部 教育課程委員会

## 研究の目的

平成 30 年度に告示された新学習指導要領の年次進行での実施が今年度入学生で 2 年目を迎えた。各会員校においてはこれまでの取り組みの成果や課題を踏まえながら、「社会に開かれた教育課程」の実現や、主体的・対話的で深い学びの実践に向けた授業改善など、新学習指導要領の理念に基づく改善を図り、持続可能な社会の構築、情報化の一層の進展、グローバル化への対応など、変化の激しい社会を主体的・創造的に生きる人材を育成するために、教育課程全体を見直し、実施する大きな節目の時期となっている。

そこで教育課程委員会では、これまでの各会員校の工業教育の推進及び工業技術者の育成や新学習指導要領への対応等について、全国の工業高等学校をはじめ工業系の高等学校に、以下の項目についての現状調査を行い、その集約・分析を行った。

### <調査項目>

- I 教育課程について
- II 学校改革について
- III 産学連携・地域連携について
- IV 学習指導・評価について

## 研究の経過

令和 4 年 1 1 月 2 4 日	令和 4 年度第 4 回教育課程委員会開催 令和 5 年度の調査研究のテーマ、調査項目及び アンケート内容についての検討
令和 5 年 5 月 初旬	会員校へのアンケート調査
令和 5 年 6 月 2 6 日	令和 5 年度第 1 回教育課程委員会開催
令和 5 年 7 月 6 日	アンケートの集約と分析作業開始
令和 5 年 8 月 7 日	令和 5 年度第 2 回教育課程委員会開催
令和 5 年 8 月 1 8 日	令和 5 年度第 3 回教育課程委員会開催
令和 5 年 7 月～8 月	アンケートの集約結果の検討と分析作業 アンケートの集約結果のまとめと研究報告書案作成 調査のまとめと研究報告書最終案の提出
令和 5 年 1 1 月 予定	令和 6 年度の調査研究についての検討

これらの調査は、全会員の校長を対象に、悉皆調査を行った。下表に回答状況を示す。

なお、調査項目によっては一部未回答の学校があり、設問によっては回答に重複を許しているため、各調査において合計の学校数が異なる。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
対象校	18	74	113	48	68	73	60	27	105	586
回答数	18	74	113	48	68	72	60	27	105	585

# 調査報告

## I 教育課程について

### ○ 調査目的

令和4年度から新学習指導要領が年次進行で実施され、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて教育活動の充実・発展に資するため、各学校の教育課程への対応状況について調査した。また、進学希望者に対する学習指導やICT機器の活用状況、情報化教育の取り組みについても調査した。

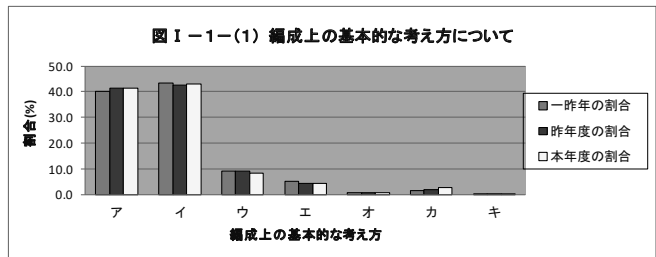
## 1. 教育課程の実施について

### (1) 編成上の基本的な考え方について

編成上の基本的な考え方は何ですか。(2つ以内)  
 ア 基礎的な学力の定着      イ 専門的な技術・技能教育の充実  
 ウ キャリア教育の推進      エ 大学等進学希望者への対応  
 オ グローバル化への対応      カ 産業界との連携      キ その他

表 I-1-1 (1) 編成上の基本的な考え方について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	13	14	5	1	0	2	1	36
東北	63	64	10	3	1	1	1	143
関東	86	89	25	10	5	5	0	220
北信越	35	43	8	2	0	4	0	92
東海	57	53	11	6	1	4	0	132
近畿	53	60	13	11	0	3	0	140
中国	52	52	6	1	0	4	0	115
四国	21	19	7	4	0	0	0	51
九州	90	94	11	9	0	6	1	211
合計	470	488	96	47	7	29	3	1140
本年度の割合	41.2	42.8	8.4	4.1	0.6	2.5	0.3	100
前年度の割合	41.2	42.6	9.1	4.2	0.6	2.0	0.3	100
一昨年の割合	40.2	43.3	9.1	5.1	0.7	1.3	0.3	100



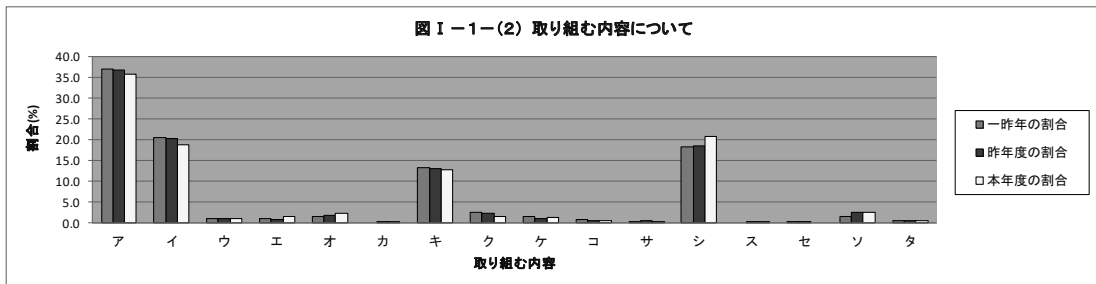
ここ数年、傾向は大きく変わっておらず、「基礎的な学力の定着」「専門的な技術・技能教育の充実」が40%を超えており、「グローバル化への対応」は2.0%以下と少ない。

### (2) 取り組む内容について

教育課程の実施にあたって、特に取り組む内容は何か。(3つ以内)  
 ア 基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用      イ 学習習慣の確立  
 ウ 伝統や文化に関する教育      エ 環境保全に関する教育  
 オ 自他の生命を尊重する精神の涵養      カ 食育の推進      キ 安全教育の推進  
 ク 言語能力の育成      ケ 理数教育      コ 道徳教育      サ 外国語教育  
 シ 職業教育      ス 主権者教育      セ 消費者教育      ソ 情報教育      タ その他

表 I-1-1 (2) 取り組む内容について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	合計
北海道	17	9	1	3	2	0	6	0	1	1	0	12	0	0	0	0	52
東北	71	33	2	2	5	0	28	6	1	0	1	40	0	0	7	0	196
関東	103	55	2	4	6	0	32	3	7	1	2	69	1	0	12	3	300
北信越	47	19	0	2	5	0	19	4	1	0	0	30	0	0	1	0	128
東海	64	40	0	2	2	0	28	2	3	0	2	32	0	0	5	0	180
近畿	69	34	4	2	5	0	16	5	2	1	0	39	1	0	7	2	187
中国	59	31	2	4	1	0	23	1	1	0	0	36	0	0	2	0	161
四国	27	16	2	0	3	1	5	2	1	0	0	12	0	0	0	0	69
九州	101	57	5	4	6	0	42	2	2	4	1	53	0	0	7	2	286
合計	558	294	18	23	35	1	199	25	19	8	6	323	2	0	41	7	1559
本年度の割合	35.8	18.9	1.2	1.5	2.2	0.1	12.8	1.6	1.2	0.5	0.4	20.7	0.1	0.0	2.6	0.4	100
前年度の割合	36.7	20.3	1.0	0.8	1.7	0.1	13.0	2.3	1.1	0.6	0.5	18.5	0.1	0.1	2.7	0.6	100
一昨年の割合	36.8	20.4	1.1	1.1	1.6	0.0	13.3	2.5	1.6	0.8	0.4	18.3	0.0	0.1	1.6	0.5	100



「基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用」を中心に「職業教育」「学習習慣の確立」「安全教育の推進」の順で取り組まれている。

(3) 卒業までの履修単位について (各学科に共通する各教科・科目は以下共通科目と示す)

(学科・コースによって異なる場合は、単位数を代表的な学科・コースについて記入してください。)

	全員履修科目単位数		選択科目単位数 (最大)		総合的な探究の 時間の単位数 (代替は含まない)	課題研究の 単位数 (代替を含む)
	共通科目	専門科目	共通科目	専門科目		
総計	(A) 単位	(B) 単位	(C) 単位	(D) 単位	(E) 単位	(F) 単位

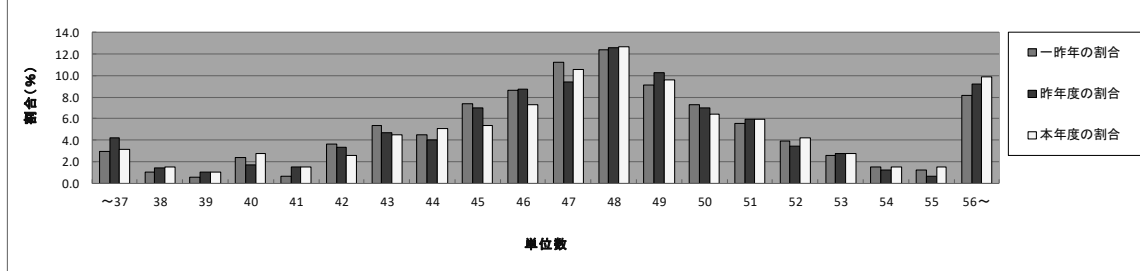
① 卒業までの履修単位について (学科・コースによって異なる場合は代表的な学科・コースで回答)

A : 全員履修科目単位数 (共通科目)

表 I-1-1 (3)-① A : 卒業までの履修単位数 (全員履修科目単位数・共通科目 : 3年総計)

	~37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56~	合計
北海道	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	2	4	2	0	2	1	0	0	1	18
東北	1	0	0	1	3	2	1	2	2	6	7	13	10	5	8	3	2	1	1	6	74
関東	5	3	1	4	1	1	5	2	9	6	9	14	10	7	5	7	6	1	1	16	113
北信越	2	0	0	1	1	1	1	1	3	0	3	9	6	4	4	3	2	1	0	2	44
東海	3	3	0	3	1	1	3	10	5	5	6	7	1	3	3	2	1	0	2	7	66
近畿	4	2	1	2	0	5	6	3	4	4	6	6	4	6	3	3	1	1	1	9	71
中国	0	0	1	3	1	1	2	3	3	7	10	8	5	2	3	1	1	0	1	6	58
四国	1	0	0	2	0	1	0	1	1	4	4	4	3	0	1	0	0	1	1	3	27
九州	2	1	3	0	2	3	7	7	4	10	11	10	12	8	7	3	2	4	2	7	105
合計	18	9	6	16	9	15	26	29	31	42	61	73	55	37	34	24	16	9	9	57	576
本年度の割合	3.1	1.6	1.0	2.8	1.6	2.6	4.5	5.0	5.4	7.3	10.6	12.7	9.5	6.4	5.9	4.2	2.8	1.6	1.6	9.9	100
昨年度の割合	4.2	1.4	1.0	1.7	1.6	3.3	4.7	4.0	7.0	8.7	9.4	12.5	10.3	7.0	5.9	3.5	2.8	1.2	0.7	9.2	100
一昨年の割合	2.9	1.0	0.5	2.4	0.7	3.6	5.3	4.5	7.4	8.6	11.2	12.4	9.1	7.2	5.5	4.0	2.6	1.6	1.2	8.1	100

図 I-1-1 (3)-① A : 卒業までの履修単位数 (全員履修科目単位数・共通科目 : 3年総計)



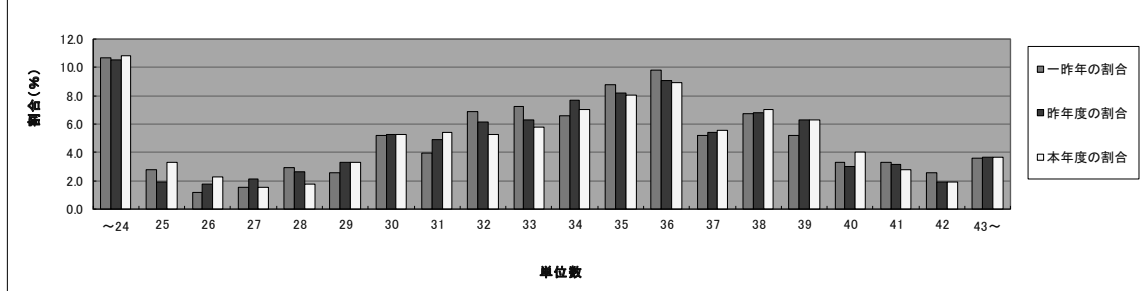
全員履修の共通科目の単位数は48単位をピークに45~51単位が多い。また、56単位以上の学校も9.9%と増加傾向にある。

B : 全員履修科目単位数 (専門科目)

表 I-1-1 (3)-① B : 卒業までの履修単位数 (全員履修科目単位数・専門科目 : 3年総計)

	~24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43~	合計
北海道	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	3	6	4	0	0	0	0	18
東北	5	2	1	1	3	3	3	7	2	2	4	10	9	6	6	4	2	0	1	1	72
関東	13	4	3	2	3	3	4	4	8	8	9	12	9	7	6	5	2	0	4	111	
北信越	3	0	0	0	0	4	6	3	4	6	6	4	2	2	1	2	0	0	0	1	44
東海	8	1	3	2	1	2	3	2	3	3	2	3	4	4	6	6	5	2	3	3	66
近畿	18	8	4	2	0	3	2	1	3	3	5	3	4	3	0	2	3	1	1	4	70
中国	5	0	1	1	2	3	4	7	6	3	5	2	6	0	4	1	2	2	3	2	59
四国	5	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	2	2	1	1	4	3	1	0	0	27
九州	5	2	1	1	1	1	5	5	4	7	7	8	14	6	10	8	3	8	3	6	105
合計	62	19	13	9	10	19	30	31	30	33	40	46	51	32	40	36	23	16	11	21	572
本年度の割合	10.8	3.3	2.3	1.6	1.7	3.3	5.2	5.4	5.2	5.8	7.0	8.0	8.9	5.6	7.0	6.3	4.0	2.8	1.9	3.7	100
昨年度の割合	10.5	1.9	1.7	2.1	2.6	3.3	5.2	4.9	6.1	6.3	7.7	8.2	9.1	5.4	6.8	6.3	3.0	3.1	1.9	3.7	100
一昨年の割合	10.7	2.8	1.2	1.6	2.9	2.6	5.2	4.0	6.9	7.2	6.6	8.8	9.8	5.2	6.7	5.2	3.3	3.3	2.6	3.6	100

図 I-1-1 (3)-① B : 卒業までの履修単位数 (全員履修科目単位数・専門科目 : 3年総計)



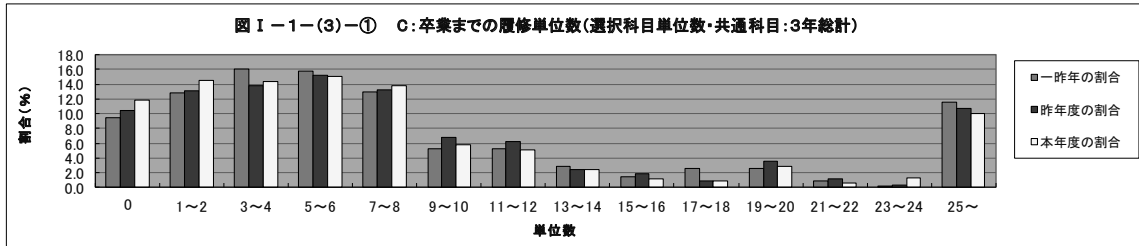
34~36単位が多く、38単位が7.0%を越えている。



### C：選択科目の単位数（最大）【共通科目】

表 I-1-(3)-① C：卒業までの履修単位数（選択科目単位数・共通科目：3年総計）

	0	1~2	3~4	5~6	7~8	9~10	11~12	13~14	15~16	17~18	19~20	21~22	23~24	25~	合計
北海道	7	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
東北	7	18	10	16	4	3	0	0	1	1	0	0	0	7	67
関東	13	10	16	24	11	7	7	1	1	1	12	2	0	10	115
北信越	2	3	0	9	14	1	3	2	0	0	0	0	2	2	38
東海	7	4	12	4	10	3	3	2	2	0	0	1	0	8	56
近畿	2	8	7	10	10	7	7	3	2	2	1	0	1	7	67
中国	11	9	8	5	6	2	4	3	0	1	0	0	0	3	52
四国	1	5	4	1	3	2	1	1	0	0	1	0	2	6	27
九州	13	14	19	11	15	5	2	1	0	0	1	0	2	8	91
合計	63	77	76	80	73	31	27	13	6	5	15	3	7	53	529
本年度の割合	11.9	14.6	14.4	15.1	13.8	5.9	5.1	2.5	1.1	0.9	2.8	0.6	1.3	10.0	100
昨年度の割合	10.5	13.1	13.9	15.2	13.3	6.8	6.2	2.4	1.9	0.9	3.6	1.1	0.4	10.7	100
一昨年の割合	9.4	12.8	16.0	15.8	13.0	5.3	5.3	2.8	1.5	2.6	2.6	0.9	0.2	11.5	100

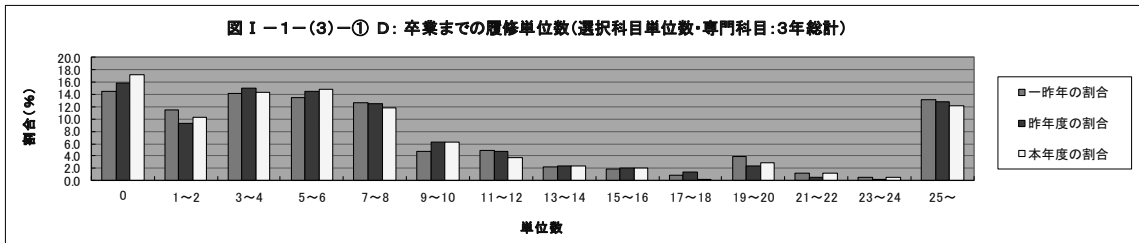


1~8単位設定している学校が多く、選択の幅を広げるという観点から25単位以上設けている学校も10.0%ある。一方、選択科目を設けていない学校も11.9%ある。

### D：選択科目の単位数（最大）【専門科目】

表 I-1-(3)-① D：卒業までの履修単位数（選択科目単位数・専門科目：3年総計）

	0	1~2	3~4	5~6	7~8	9~10	11~12	13~14	15~16	17~18	19~20	21~22	23~24	25~	合計
北海道	8	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	16
東北	13	14	11	11	3	2	0	1	2	0	1	0	0	7	65
関東	16	13	21	18	9	7	4	2	1	0	12	2	2	9	116
北信越	4	2	0	11	13	1	2	1	1	0	0	1	0	5	41
東海	8	2	12	7	9	3	1	2	1	1	0	1	0	10	57
近畿	6	2	6	12	6	7	4	6	2	0	1	1	1	12	66
中国	12	5	7	6	5	5	5	0	1	0	1	0	0	5	52
四国	2	4	4	3	2	1	3	1	2	0	0	0	0	4	26
九州	22	7	15	10	15	6	1	0	1	0	0	1	0	10	88
合計	91	54	76	78	62	33	20	13	11	1	15	6	3	64	527
本年度の割合	17.3	10.2	14.4	14.8	11.8	6.3	3.8	2.5	2.1	0.2	2.8	1.1	0.6	12.1	100
昨年度の割合	15.8	9.2	15.1	14.5	12.5	6.2	4.7	2.5	2.1	1.3	2.5	0.6	0.2	12.8	100
一昨年の割合	14.6	11.4	14.2	13.5	12.7	4.8	5.0	2.2	1.8	0.9	3.9	1.3	0.6	13.1	100

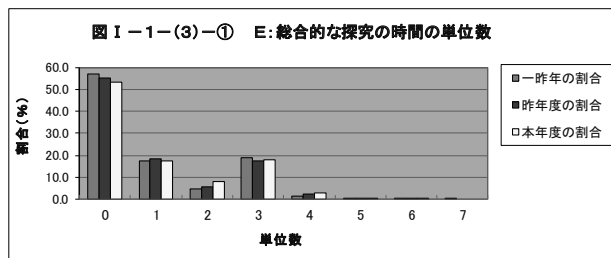


1~8単位設定している学校が多く、選択の幅を広げるという観点から25単位以上設けている学校も12.1%ある。一方、選択科目を設けていない学校も17.3%と増加傾向にある。

### E：総合的な探究の時間の単位数（代替は含まない）

表 I-1-(3)-① E：総合的な探究の時間の単位数

	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
北海道	8	4	1	3	0	0	0	0	16
東北	28	10	9	7	5	1	1	0	61
関東	54	24	6	12	3	0	0	0	99
北信越	25	6	2	8	0	0	0	0	41
東海	36	2	3	14	2	0	0	0	57
近畿	22	6	12	19	1	0	1	0	61
中国	14	24	3	11	2	1	0	0	55
四国	17	2	1	2	0	0	0	0	22
九州	61	10	2	13	1	1	0	0	88
合計	265	88	39	89	14	3	2	0	500
本年度の割合	53.0	17.6	7.8	17.8	2.8	0.6	0.4	0.0	100
昨年度の割合	55.2	18.3	5.7	17.5	2.4	0.6	0.4	0.0	100
一昨年の割合	56.9	17.2	4.8	18.8	1.5	0.2	0.4	0.2	100

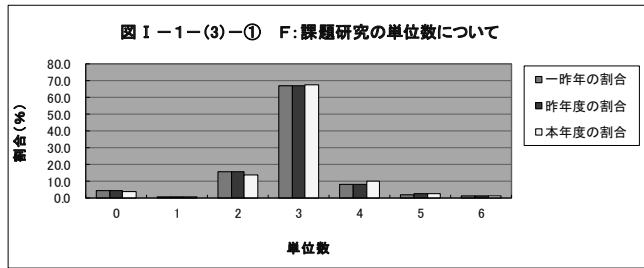


「課題研究」による全部または一部の代替により「総合的な探究の時間」を実施しない学校が53.0%ある。

## F：課題研究の単位数（代替を含む）

表 I-1-(3)-① F：課題研究の単位数について

	0	1	2	3	4	5	6	合計
北海道	0	0	3	11	2	0	0	16
東北	2	1	12	48	5	1	1	70
関東	4	0	15	74	14	3	1	111
北信越	3	0	2	35	2	0	0	42
東海	3	0	9	47	1	0	2	62
近畿	6	0	6	42	11	1	2	68
中国	1	0	17	31	7	1	1	58
四国	1	0	3	15	4	4	0	27
九州	1	0	11	70	12	4	0	98
合計	21	1	78	373	58	14	7	552
本年度の割合	3.8	0.2	14.1	67.6	10.5	2.5	1.3	100
昨年度の割合	4.5	0.2	15.6	67.3	8.6	2.7	1.3	100
一昨年の割合	4.4	0.5	16.0	67.3	8.3	1.9	1.6	100

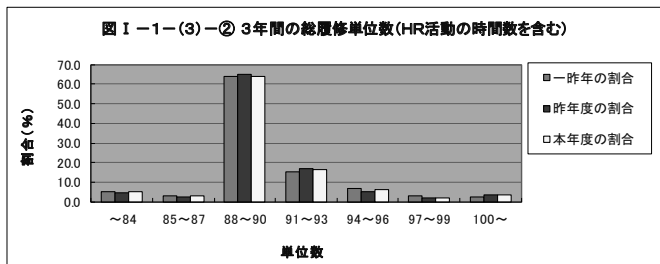


3単位の学校が67.6%と大半を占めている。

## ② 3年間または4年間の履修総単位数について（HR活動の時間を含む）

表 I-1-(3)-② 3年間の総履修単位数(HR活動の時間数を含む)

	~84	85~87	88~90	91~93	94~96	97~99	100~	合計
北海道	0	0	15	2	0	1	0	18
東北	3	1	52	9	2	2	5	74
関東	9	5	68	16	7	2	6	113
北信越	1	1	24	13	5	2	0	46
東海	4	3	42	10	7	0	2	68
近畿	9	2	42	10	3	3	3	72
中国	2	2	40	7	6	0	2	59
四国	0	0	16	9	2	0	0	27
九州	3	3	73	18	3	2	3	105
合計	31	17	372	94	35	12	21	582
本年度の割合	5.3	2.9	63.9	16.2	6.0	2.1	3.6	100
昨年度の割合	4.8	2.7	64.9	16.8	5.1	2.2	3.4	100
一昨年の割合	5.0	3.3	63.8	15.3	6.9	3.1	2.7	100

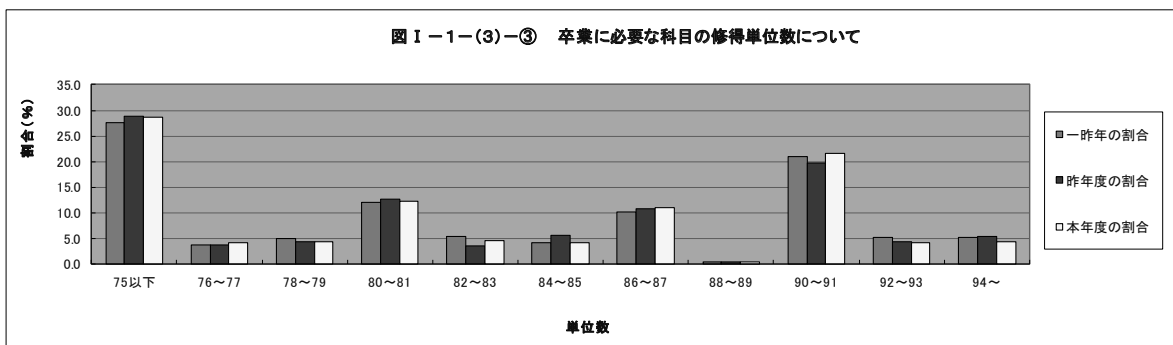


3年間または4年間の履修総単位数は88~90単位が圧倒的に多い。また、91単位以上設定している学校は27.9%（162校）ある。

## ③ 卒業に必要な科目の修得単位数について

表 I-1-(3)-③ 卒業に必要な科目の修得単位数について

	75以下	76~77	78~79	80~81	82~83	84~85	86~87	88~89	90~91	92~93	94~	合計
北海道	2	0	0	1	0	0	4	0	10	1	0	18
東北	29	3	2	4	4	1	9	0	17	1	2	72
関東	27	3	9	15	14	8	8	3	21	0	5	113
北信越	9	1	0	5	2	1	9	0	9	6	4	46
東海	25	5	2	13	2	4	6	0	6	2	2	67
近畿	25	6	3	8	1	3	8	0	9	3	5	71
中国	17	4	1	6	2	1	7	0	17	1	1	57
四国	9	1	3	2	1	4	0	0	5	1	1	27
九州	22	1	5	17	1	2	12	0	31	9	5	105
合計	165	24	25	71	27	24	63	3	125	24	25	576
本年度の割合	28.6	4.2	4.3	12.3	4.7	4.2	10.9	0.5	21.7	4.2	4.3	100
昨年度の割合	29.0	3.8	4.5	12.6	3.6	5.7	10.9	0.3	19.7	4.5	5.5	100
一昨年の割合	27.5	3.8	5.0	12.0	5.5	4.1	10.2	0.5	21.0	5.2	5.2	100



75単位以下の学校が28.6%で最も多い。続いて「90~91単位」が21.7%、「80~81単位」が12.3%の順となっている。

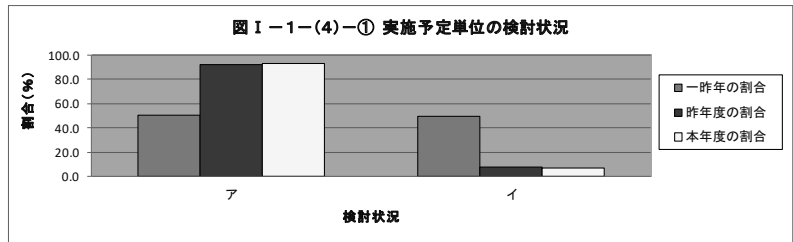
(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について

① 実施予定単位の検討状況について

実施予定単位の検討状況を教えてください。  
ア 決定済 イ 検討中

表 I-1-1-(4)-① 実施予定単位の検討状況

	ア	イ	合計
北海道	17	1	18
東北	66	4	70
関東	89	10	99
北信越	43	1	44
東海	64	2	66
近畿	54	5	59
中国	47	5	52
四国	23	1	24
九州	88	8	96
合計	491	37	528
本年度の割合	93.0	7.0	100
昨年度の割合	91.9	8.1	100
一昨年の割合	50.5	49.5	100



93.0%の学校が実施予定単位を決定済である。

② 数学の予定または決定の単位数をお答えください。

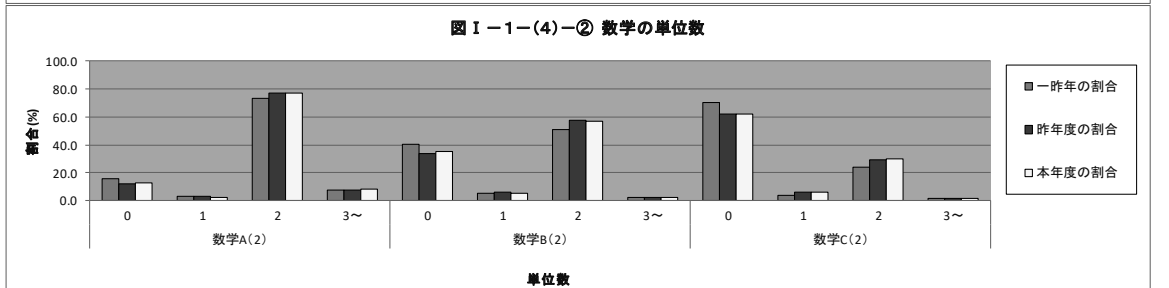
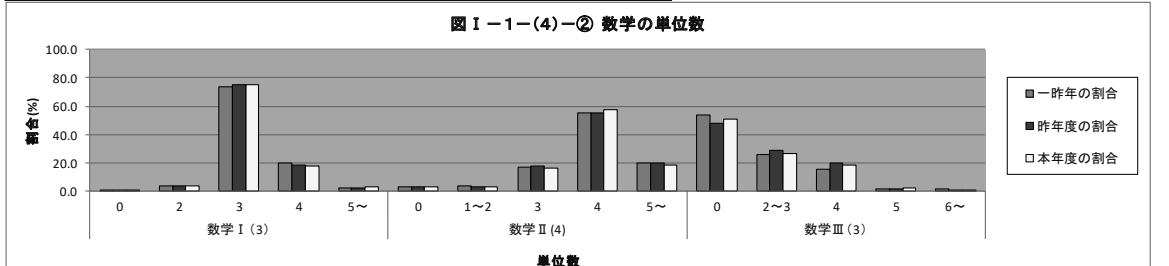
数学 I	数学 II	数学 III	数学 A	数学 B	数学 C
(A) 単位	(B) 単位	(C) 単位	(D) 単位	(E) 単位	(F) 単位

表 I-1-1-(4)-② 数学の単位数 (各科目のかっこ内は標準単位数を示す)

	数学 I (3)					数学 II (4)					数学 III (3)					
	0	2	3	4	5~	0	1~2	3	4	5~	0	2~3	4	5	6~	
北海道	0	0	12	6	0	0	0	2	11	4	9	0	1	0	0	
東北	0	5	49	18	1	1	1	8	43	19	27	5	8	0	0	
関東	1	3	79	19	7	3	6	31	58	11	27	26	22	5	1	
北信越	0	2	40	5	0	1	0	5	32	8	18	10	10	0	0	
東海	0	7	51	9	1	2	1	12	45	4	20	25	2	0	0	
近畿	0	1	56	10	1	3	8	10	35	9	18	11	17	2	0	
中国	0	2	48	8	2	3	1	4	34	15	26	8	2	0	0	
四国	0	0	21	6	0	2	0	5	16	4	10	6	5	1	0	
九州	0	1	74	22	7	5	3	14	43	28	40	12	5	1	0	
合計	1	21	430	103	19	20	20	91	317	102	195	103	72	9	1	
本年度の割合	0.2	3.7	74.9	17.9	3.3	3.6	3.6	16.5	57.6	18.5	51.3	27.1	18.9	2.4	0.3	
昨年度の割合	0.2	3.7	75.5	18.4	2.3	3.1	3.1	18.0	55.4	20.3	48.3	29.3	20.2	1.9	0.3	
一昨年の割合	0.2	3.9	73.9	19.8	2.2	3.5	3.7	17.5	55.1	20.2	54.2	26.3	15.8	1.9	1.9	

	数学 A (2)				数学 B (2)				数学 C (2)			
	0	1	2	3~	0	1	2	3~	0	1	2	3~
北海道	5	0	7	2	5	1	7	0	8	1	1	0
東北	9	0	49	7	24	1	26	0	30	0	13	1
関東	17	3	66	4	31	3	49	1	40	2	34	3
北信越	3	2	39	1	9	0	33	0	25	2	9	0
東海	8	3	42	3	15	3	28	1	23	4	16	1
近畿	4	0	50	6	12	1	37	3	23	2	19	0
中国	6	1	42	3	15	6	18	1	24	6	6	0
四国	2	0	23	2	9	3	11	0	12	2	7	0
九州	11	1	63	12	28	3	30	3	46	3	7	0
合計	65	10	381	40	148	21	239	9	231	22	112	5
本年度の割合	13.1	2.0	76.8	8.1	35.5	5.0	57.3	2.2	62.4	5.9	30.3	1.4
昨年度の割合	12.0	2.9	77.5	7.6	33.6	6.2	57.7	2.5	62.3	6.4	29.5	1.8
一昨年の割合	15.6	3.1	73.8	7.6	40.7	5.5	51.2	2.5	70.2	3.9	24.3	1.6



「数学 I」「数学 II」「数学 A」は標準単位数を履修する学校が多い。また、「数学 III」の履修は 2~3 単位が 27.1%、4 単位 18.9% と昨年度に比べ減少したが、進学者への対応に努力している。さらに、「数学 C」も 1・2 単位履修する学校が増加している。

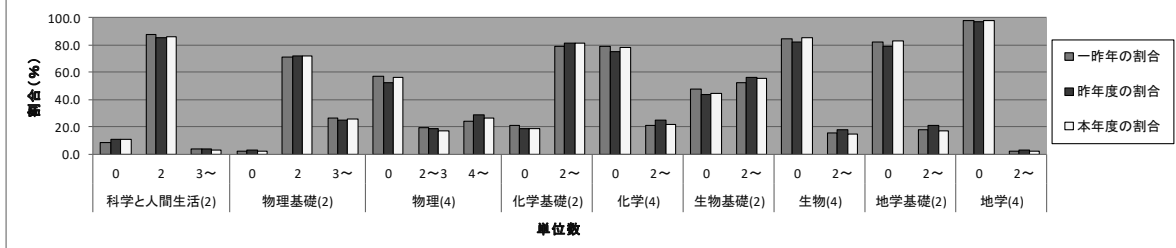
③ 理科の予定または決定の単位数をお答えください。

科学と人間生活	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	地学基礎	地学
(A) 単位	(B) 単位	(C) 単位	(D) 単位	(E) 単位	(F) 単位	(G) 単位	(H) 単位	(I) 単位

表 I-1-(4)-③ 理科の単位数（各科目のかつこ内は標準単位数を示す）

	科学と人間生活(2)			物理基礎(2)			物理(4)		化学基礎(2)		化学(4)		生物基礎(2)		生物(4)		地学基礎(2)		地学(4)		
	0	2	3~	0	2	3~	0	2~3	4~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~
北海道	4	8	1	0	13	4	7	0	2	0	16	7	2	2	12	7	1	7	1	8	0
東北	8	54	1	3	48	21	27	6	9	10	51	33	6	19	29	34	5	36	4	36	2
関東	15	78	7	1	70	35	33	11	31	9	86	44	23	25	47	49	14	50	16	59	0
北信越	1	43	1	1	30	16	21	10	8	6	35	25	8	17	17	27	5	28	6	29	1
東海	13	49	2	3	50	12	20	13	13	9	47	33	7	23	26	33	6	31	8	38	0
近畿	6	51	2	1	57	7	24	11	11	5	46	28	9	12	36	29	6	26	12	33	0
中国	5	52	0	2	41	13	26	3	5	13	35	30	3	21	19	29	3	31	4	31	1
四国	1	24	1	2	18	7	11	4	5	7	16	13	7	11	7	14	3	14	3	15	2
九州	3	95	2	1	69	27	37	4	12	28	37	43	7	39	18	45	4	48	3	48	1
合計	56	454	17	14	396	142	206	62	96	87	369	256	72	169	211	267	47	271	57	297	7
本年度の割合	10.6	86.1	3.2	2.5	71.7	25.7	56.6	17.0	26.4	19.1	80.9	78.0	22.0	44.5	55.5	85.0	15.0	82.6	17.4	97.7	2.3
昨年度の割合	10.7	85.5	3.8	2.7	72.0	25.3	52.6	18.6	28.9	18.4	81.6	75.3	24.7	43.5	56.5	82.4	17.6	79.1	20.9	96.8	3.2
一昨年の割合	8.8	87.7	3.5	2.6	71.2	26.2	56.7	19.3	23.9	21.0	79.0	78.6	21.4	48.0	52.0	84.6	15.4	81.8	18.2	97.7	2.3

図 I-1-(4)-③ 理科の単位数



「科学と人間生活」を2単位履修する学校が最も多く、続いて「化学基礎」、「物理基礎」を2単位履修する学校の順となっている。

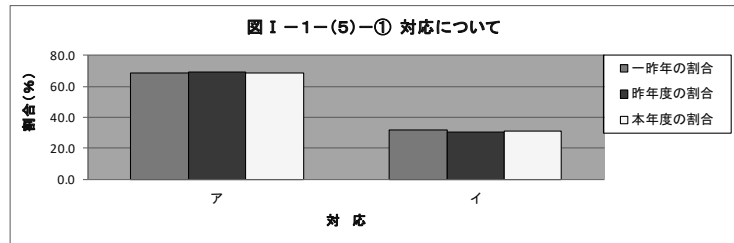
(5) 進学希望者の指導について

① 教育課程上の対応について

進学希望者の指導について教育課程上の対応をしていますか。  
ア はい イ いいえ

表 I-1-(5)-① 対応について

	ア	イ	合計
北海道	9	9	18
東北	45	29	74
関東	74	39	113
北信越	35	12	47
東海	49	19	68
近畿	56	16	72
中国	40	20	60
四国	25	2	27
九州	68	37	105
合計	401	183	584
本年度の割合	68.7	31.3	100
昨年度の割合	69.3	30.7	100
一昨年の割合	68.2	31.8	100



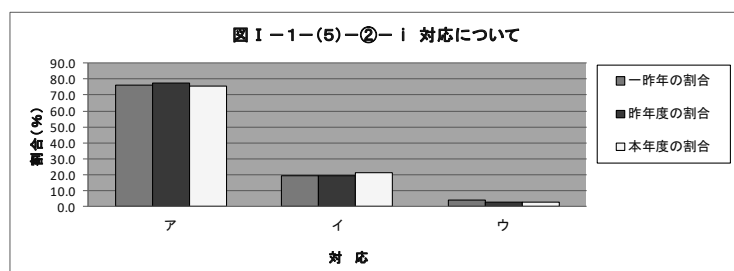
68.7%の学校が教育課程上の対応をしている。

② ①でアと回答した学校について

i どのような対応をしていますか。(複数回答可)  
ア 選択教科 イ コース又は類型で指導 ウ その他

表 I-1-(5)-②-i 対応について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	7	1	2	10
東北	44	6	0	50
関東	65	13	3	81
北信越	31	9	0	40
東海	38	14	2	54
近畿	44	19	0	63
中国	32	9	1	42
四国	20	10	0	30
九州	54	14	5	73
合計	335	95	13	443
本年度の割合	75.6	21.4	2.9	100
昨年度の割合	77.8	19.1	3.1	100
一昨年の割合	76.2	19.3	4.5	100



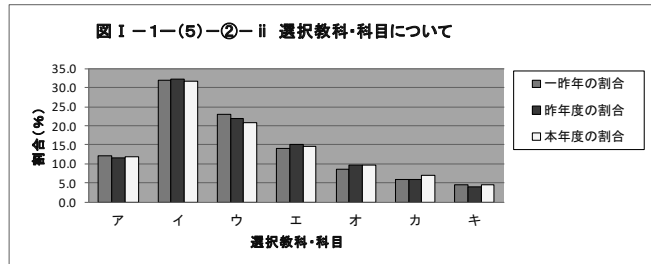
「選択教科」で対応している学校が75.6%で最も多いが微減し、「コース制又は類型で指導」などが微増している。

ii iでアと回答した場合の選択教科・科目名（複数回答可）

ア 国語      イ 数学      ウ 英語      エ 物理      オ 化学  
カ 地歴・公民      キ その他

表 I-1-(5)-②-ii 選択教科・科目について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	3	6	3	2	3	2	1	20
東北	13	42	27	20	12	7	5	126
関東	27	64	32	36	27	19	10	215
北信越	11	31	20	12	5	4	6	89
東海	11	38	31	23	12	10	6	131
近畿	21	48	34	25	15	16	9	168
中国	14	33	26	10	7	6	5	101
四国	10	19	15	10	6	5	2	67
九州	16	55	32	18	15	5	5	146
合計	126	336	220	156	102	74	49	1063
本年度の割合	11.9	31.6	20.7	14.7	9.6	7.0	4.6	100
昨年度の割合	11.7	32.2	22.0	15.0	9.6	5.7	3.8	100
一昨年の割合	12.0	32.0	23.1	14.1	8.6	5.8	4.5	100



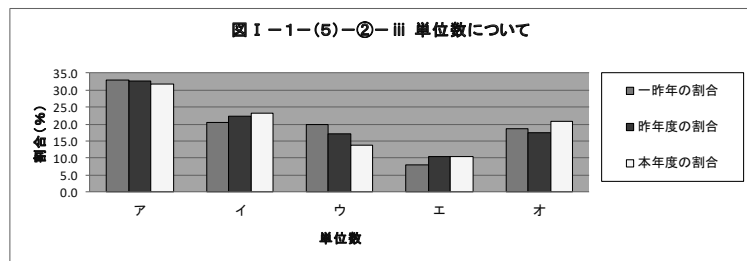
「数学」が最も多く、続いて「英語」「物理」「国語」の順となっている。

iii iでアと回答した場合の進学を考慮した3年間での選択教科・科目の単位数

ア 4単位以下      イ 6単位以下      ウ 8単位以下      エ 10単位以下  
オ 11単位以上

表 I-1-(5)-②-iii 単位数について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	5	0	0	2	7	14
東北	18	12	5	4	3	42
関東	18	20	5	7	17	67
北信越	8	8	8	4	4	32
東海	9	9	6	4	11	39
近畿	14	13	1	4	16	48
中国	12	6	6	4	5	33
四国	6	2	3	2	7	20
九州	19	10	13	7	7	56
合計	109	80	47	36	72	344
本年度の割合	31.7	23.3	13.7	10.5	20.9	100
昨年度の割合	32.8	22.4	17.1	10.4	17.4	100
一昨年の割合	33.1	20.4	19.8	8.0	18.6	100



「4単位以下」が31.7%で最も多く、「6単位以下」が微増、「11単位以上」設定している学校は20.9%で増加傾向である。

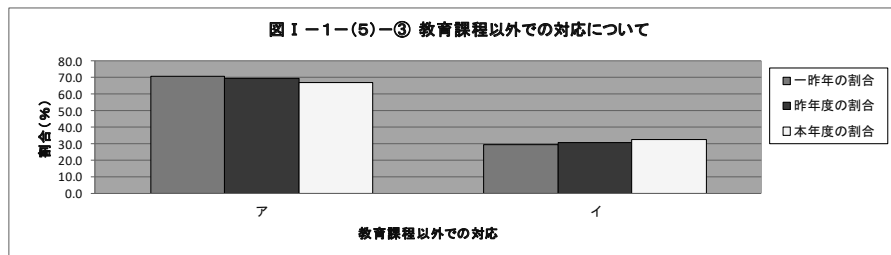
### ③ 教育課程以外の対応について

教育課程以外で何か対応していますか。

ア はい      イ いいえ

表 I-1-(5)-③ 教育課程以外での対応について

	ア	イ	合計
北海道	13	5	18
東北	59	14	73
関東	69	44	113
北信越	33	14	47
東海	41	26	67
近畿	44	28	72
中国	43	17	60
四国	23	4	27
九州	66	38	104
合計	391	190	581
本年度の割合	67.3	32.7	100
昨年度の割合	69.6	30.4	100
一昨年の割合	70.7	29.3	100



教育課程以外で対応している学校が67.3%ある。

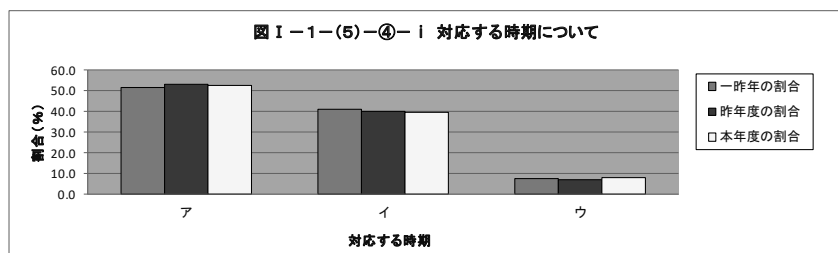
### ④ ③でアと回答した学校について

i どの時期に対応をしていますか。（複数回答可）

ア 早朝もしくは放課後の課外授業で対応      イ 長期休業中      ウ その他

表 I-1-(5)-④-i 対応する時期について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	10	7	1	18
東北	43	41	4	88
関東	41	38	10	89
北信越	28	22	1	51
東海	32	18	4	54
近畿	36	24	3	63
中国	34	18	5	57
四国	19	15	1	35
九州	47	35	15	97
合計	290	218	44	552
本年度の割合	52.5	39.5	8.0	100
昨年度の割合	52.9	40.1	7.0	100
一昨年の割合	51.7	41.0	7.3	100



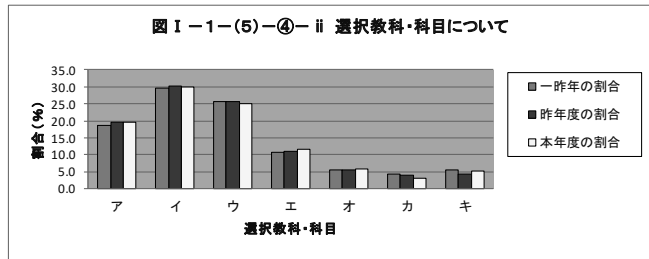
「早朝もしくは放課後の課外授業で対応」している学校が52.5%であるが、複数回答している学校も多い。

ii i でアと回答した場合の選択教科・科目名（複数回答可）

ア 国語      イ 数学      ウ 英語      エ 物理      オ 化学  
カ 地歴・公民      キ その他

表 I-1-(5)-④-ii 選択教科・科目について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	3	10	9	6	3	1	2	34
東北	37	49	47	16	8	4	8	169
関東	32	47	38	15	8	7	9	156
北信越	19	30	25	12	9	2	4	101
東海	20	34	28	13	6	3	5	109
近畿	25	39	35	12	7	1	8	127
中国	24	36	28	10	5	3	5	111
四国	14	22	17	10	6	5	3	77
九州	35	51	41	29	11	6	10	183
合計	209	318	268	123	63	32	54	1067
本年度の割合	19.6	29.8	25.1	11.5	5.9	3.0	5.1	100
昨年度の割合	19.4	30.1	25.8	10.9	5.6	4.0	4.2	100
一昨年度の割合	18.6	29.8	25.6	10.7	5.5	4.1	5.6	100



対応している教科・科目は「数学」が最も多く、続いて「英語」「国語」の順となっている。

## (6) 大学入試について

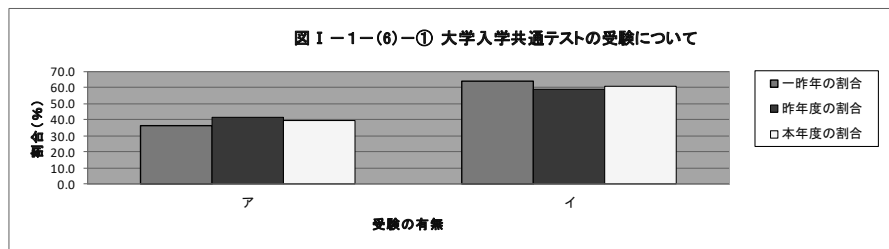
### ① 大学入学共通テストについて

大学入学共通テストを受験していますか。

ア はい      イ いいえ

表 I-1-(6)-① 大学入学共通テストの受験について

	ア	イ	合計
北海道	3	15	18
東北	22	50	72
関東	50	63	113
北信越	24	23	47
東海	34	34	68
近畿	32	39	71
中国	16	44	60
四国	13	14	27
九州	34	71	105
合計	228	353	581
本年度の割合	39.2	60.8	100
昨年度の割合	41.2	58.8	100
一昨年度の割合	36.3	63.7	100



大学入学共通テストを受験している学校は39.2%であり昨年より減少している。

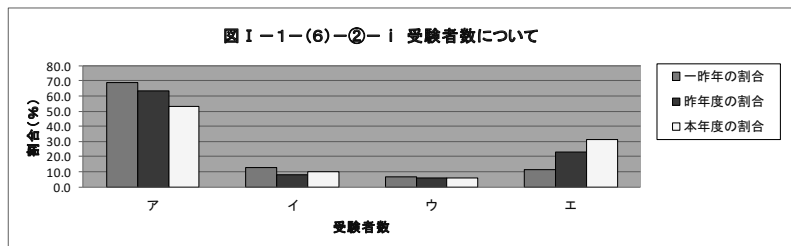
### ② ①でアと回答した学校について

i 昨年度の受験者は何名ですか。（過年度卒も含む）

ア 5名以内      イ 6名から10名      ウ 11名以上      エ 21名以上

表 I-1-(6)-②-i 受験者数について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	2	0	0	1	3
東北	9	4	1	8	22
関東	29	4	4	13	50
北信越	11	4	3	6	24
東海	22	2	1	9	34
近畿	14	2	3	13	32
中国	11	2	0	3	16
四国	5	1	0	7	13
九州	18	3	1	11	33
合計	121	22	13	71	227
本年度の割合	53.3	9.7	5.7	31.3	100
昨年度の割合	63.4	8.0	5.9	22.7	100
一昨年度の割合	69.1	12.9	6.9	11.1	100



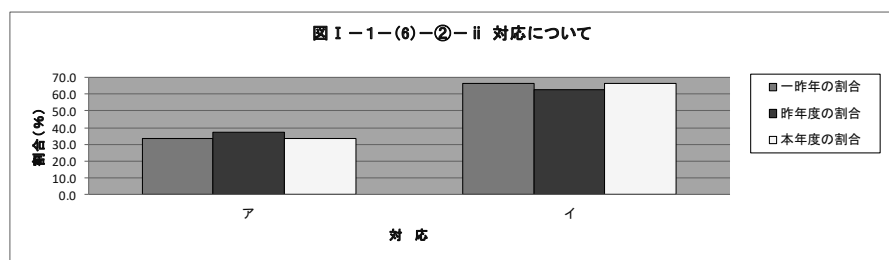
「5名以内」の学校の割合が減少し、「21名以上」の学校がかなり増加傾向にある。

ii どのような対応をしていますか。

ア 教育課程上で対応      イ 教育課程以外で対応

表 I-1-(6)-②-ii 対応について

	ア	イ	合計
北海道	2	1	3
東北	4	17	21
関東	18	30	48
北信越	4	20	24
東海	11	23	34
近畿	13	19	32
中国	5	11	16
四国	9	4	13
九州	10	24	34
合計	76	149	225
本年度の割合	33.8	66.2	100
昨年度の割合	37.6	62.4	100
一昨年度の割合	33.7	66.3	100



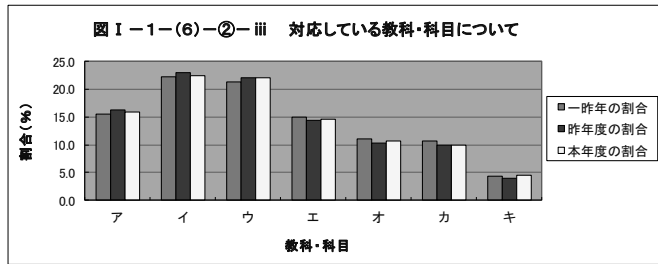
教育課程以外で対応している学校が66.2%ある。

iii 対応している場合の教科・科目名（複数回答可）

ア 国語      イ 数学      ウ 英語      エ 物理      オ 化学  
カ 地歴・公民      キ その他

表 I-1-(6)-②-iii 対応している教科・科目について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	2	2	3	2	2	3	0	14
東北	15	21	20	15	13	7	4	95
関東	28	37	33	26	17	21	9	171
北信越	10	19	19	15	11	7	2	83
東海	21	27	30	15	11	13	2	119
近畿	17	25	25	13	9	6	6	101
中国	7	11	10	4	4	5	3	44
四国	11	11	12	9	8	8	2	61
九州	14	23	22	15	9	8	8	99
合計	125	176	174	114	84	78	36	787
本年度の割合	15.9	22.4	22.1	14.5	10.7	9.9	4.6	100
昨年度の割合	16.3	23.0	22.1	14.5	10.2	10.0	4.0	100
一昨年の割合	15.6	22.2	21.3	14.9	11.0	10.7	4.3	100



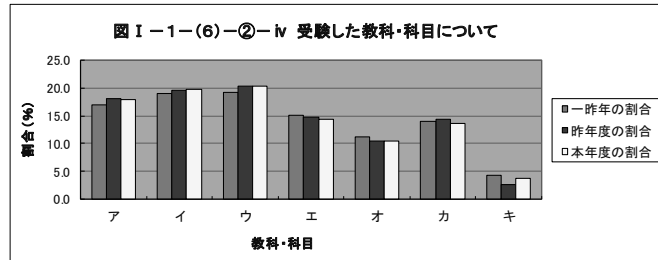
「数学」「英語」が多く、続いて「国語」「物理」の順となっている。

iv 実際に受験した教科・科目名（複数回答可）

ア 国語      イ 数学      ウ 英語      エ 物理      オ 化学  
カ 地歴・公民      キ その他

表 I-1-(6)-②-iv 受験した教科・科目について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	2	2	3	2	2	3	0	14
東北	19	21	21	18	13	15	5	112
関東	35	39	39	31	23	26	7	200
北信越	17	22	20	18	12	15	6	110
東海	27	28	31	22	16	21	3	148
近畿	26	29	29	15	11	13	4	127
中国	11	12	13	6	6	9	2	59
四国	12	12	13	8	8	11	2	66
九州	27	28	30	20	11	20	7	143
合計	176	193	199	140	102	133	36	979
本年度の割合	18.0	19.7	20.3	14.3	10.4	13.6	3.7	100
昨年度の割合	18.0	19.5	20.3	14.8	10.4	14.4	2.7	100
一昨年の割合	17.0	19.1	19.2	15.1	11.2	14.0	4.4	100



「英語」「数学」が多く、続いて「国語」「物理」「地歴・公民」の順となっている。

(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて

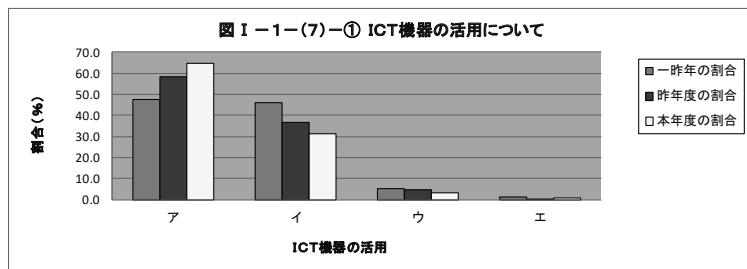
① ICT機器の活用について

工業専門科目の座学で、ICT機器の活用についてお答えください。

ア よく活用している      イ 少し活用している      ウ あまり活用していない  
エ 全く活用していない

表 I-1-(7)-① ICT機器の活用について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	11	6	1	0	18
東北	51	20	2	1	74
関東	74	36	3	0	113
北信越	27	19	1	0	47
東海	38	28	2	0	68
近畿	39	30	2	1	72
中国	41	14	4	1	60
四国	21	5	0	0	26
九州	74	25	5	1	105
合計	376	183	20	4	583
本年度の割合	64.5	31.4	3.4	0.7	100
昨年度の割合	58.1	36.9	4.7	0.3	100
一昨年の割合	47.7	45.8	5.3	1.2	100



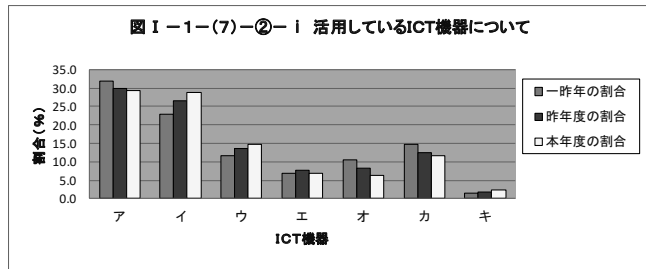
「よく活用」が、かなり増加し、座学におけるICT機器の活用は進んでいる。

② ①でア、イと回答した学校について

i 活用しているICT機器についてお答えください。活用方法ではありません。(複数回答可)  
 ア プロジェクタ イ タブレット ウ 電子黒板 エ スマートフォン  
 オ デジタルカメラ(ビデオ) カ 書画カメラ(実物投影機) キ その他

表I-1-(7)-②-i 活用しているICT機器について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	17	17	0	7	7	3	0	51
東北	68	66	34	22	26	34	5	255
関東	104	89	48	44	24	49	9	367
北信越	41	43	28	4	8	13	3	140
東海	66	63	18	18	9	27	4	205
近畿	66	59	28	10	12	17	7	199
中国	51	53	27	6	6	22	4	169
四国	23	27	13	4	6	8	1	82
九州	84	91	64	7	13	34	6	299
合計	520	508	260	122	111	207	39	1767
本年度の割合	29.4	28.7	14.7	6.9	6.3	11.7	2.2	100
前年度の割合	29.7	26.5	13.6	7.7	8.2	12.4	1.7	100
一昨年の割合	31.7	22.8	11.7	7.0	10.5	14.8	1.5	100



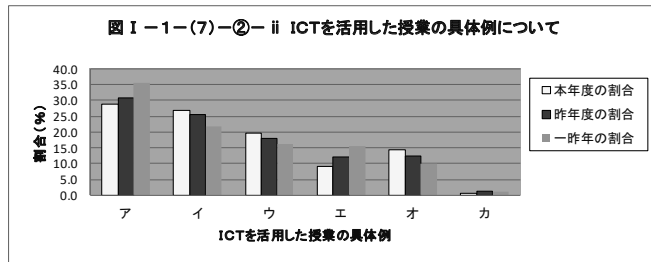
タブレット・電子黒板の活用が増加しており、GIGAスクール構想の下でのICT環境整備の影響が表れている。

ii ICTを活用した授業の具体例についてお答えください。(複数回答可)

- ア プロジェクタ, 書画カメラによる教材提示
- イ タブレット, スマートフォンを活用しての資料検索や調べ学習
- ウ タブレットを活用したプレゼンテーションや意見発表
- エ デジタルカメラ, ビデオを活用した動画提示
- オ タブレット, スマートフォンを活用した個別学習
- カ その他

表I-1-(7)-②-ii ICTを活用した授業の具体例について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	15	16	8	9	11	0	59
東北	67	65	42	34	37	1	246
関東	100	90	62	33	47	4	336
北信越	42	42	37	13	20	2	156
東海	63	62	48	16	30	2	221
近畿	65	55	41	15	24	1	201
中国	51	48	35	15	24	0	173
四国	26	22	21	9	18	0	96
九州	92	88	64	24	52	1	321
合計	521	488	358	168	263	11	1809
本年度の割合	28.8	27.0	19.8	9.3	14.5	0.6	100
前年度の割合	30.8	25.6	17.9	12.2	12.3	1.3	100
一昨年の割合	35.5	21.7	16.1	15.4	9.9	1.2	100



その他

- ・電子黒板による学習内容・自作教材等の表示
- ・タブレットを活用したプログラミング学習
- ・課題の共有及びレポート提出
- ・クラウドブックを活用した調べ学習
- ・スマートフォンを活用した小テスト
- ・パソコンを活用してのプレゼンテーション

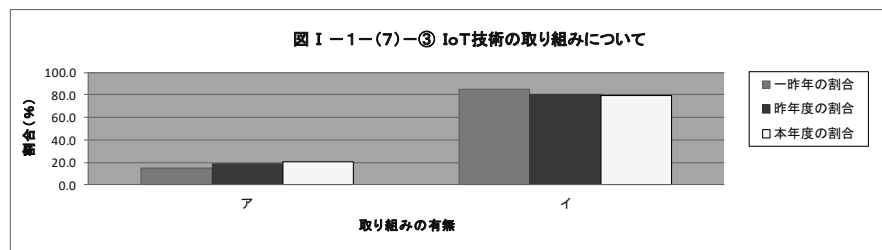
教材提示・調べ学習・プレゼンテーションの順に活用されており、個別学習への活用も14.5%の学校で行われ増加傾向にある。

③ IoT技術について

IoT技術についての取り組みはありますか。  
 ア はい イ いいえ

表I-1-(7)-③ IoT技術の取り組みについて

	ア	イ	合計
北海道	3	15	18
東北	22	52	74
関東	19	93	112
北信越	18	29	47
東海	11	57	68
近畿	7	64	71
中国	15	45	60
四国	10	17	27
九州	15	88	103
合計	120	460	580
本年度の割合	20.7	79.3	100
前年度の割合	19.3	80.7	100
一昨年の割合	14.8	85.2	100



取り組んでいる学校は20.7%で増加傾向である。



#### ④ ③でアと回答した学校について

具体的な取り組みをお答えください。(主なものを記載)

- ・マイクロコンピュータを活用した制御
- ・ライントレースロボットによるプログラム学習
- ・企業と協働し、校内3Dマップの作製
- ・ハンドジェスチャー
- ・将棋AIロボット、ドローン
- ・Wi-Fi制御による無線ラジコンカー製作
- ・農業科と堆肥の温度管理システムの共同開発
- ・ESPを活用したWi-Fi環境におけるロボット制御
- ・3Dプリンター及びレーザー加工機等によるものづくり
- ・Pepperを活用した、会話プログラミング
- ・Raspberry PiやArduinoを使ったものづくり
- ・工業情報数理におけるMicro:Bitの活用
- ・ビニールハウスの温度制御及び画像公開
- ・VR技術
- ・Microsoft Azureを使用したロボット
- ・M5STACKを用いたICT実習
- ・センサーネットワーク
- ・LEGO MIND STORM SINGLE BOARD COMPUTER
- ・教室の環境調査
- ・3Dプリンターを遠隔管理する教材を準備中
- ・スマートフォンによる外部機器制御

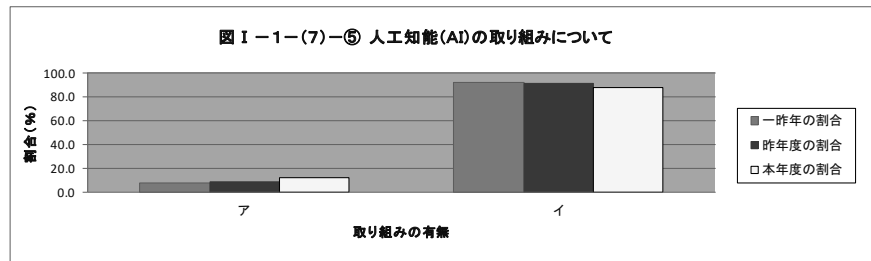
#### ⑤ 人口知能 (AI) について

人工知能 (AI) についての取り組みはありますか。

ア はい イ いいえ

表 I-1-(7)-⑤ 人工知能 (AI) の取り組みについて

	ア	イ	合計
北海道	1	17	18
東北	7	66	73
関東	14	100	114
北信越	11	36	47
東海	9	58	67
近畿	10	62	72
中国	5	51	56
四国	4	22	26
九州	8	90	98
合計	69	502	571
本年度の割合	12.1	87.9	100
前年度の割合	8.6	91.4	100
一昨年の割合	7.8	92.2	100



取り組んでいる学校は横ばいで、検討中の学校が多いと思われる。

#### ⑥ ⑤でアと回答した学校について

具体的な取り組みをお答えください。(主なものを記載)

- ・4軸アームロボットを利用した色別、画像処理制御
- ・スキルビルドスチューデント (IBMとの連携)
- ・AIチャットを使用したブレイクストーリーミング
- ・CNNでFashion MNISTを判別
- ・アレクサを活用した授業
- ・AIによるCPS (Cyber-Physical system) 学習
- ・AI自動運転ラジコンカー
- ・Pythonによるアプリケーション製作
- ・Python, scratchiによる課題研究ロイロノート
- ・人工知能実習装置を用いた実習
- ・ChatGPTを活用した調べ学習
- ・AIドリルの導入
- ・ニューラルネットワーク研究
- ・自動走行ロボットカーの製作

#### (8) 遠隔システムについて

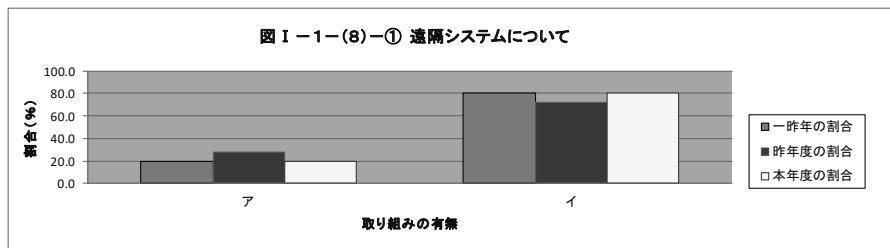
##### ① 遠隔システムの利用について

遠隔システムを利用した授業を行っていますか。

ア はい イ いいえ

表 I-1-(8)-① 遠隔システムを利用した授業について

	ア	イ	合計
北海道	4	14	18
東北	13	61	74
関東	24	89	113
北信越	12	35	47
東海	0	53	53
近畿	11	61	72
中国	13	47	60
四国	11	16	27
九州	25	77	102
合計	113	453	566
本年度の割合	20.0	80.0	100
前年度の割合	28.3	71.7	100
一昨年の割合	19.6	80.4	100



取り組んでいる学校が20.0%で減少傾向となっている。

## ② ①でアと回答した学校について

具体的な状況をお答えください。(主なものを記載)

- ・臨時休業や分散登校・分割授業時のオンライン学習
- ・出席停止の生徒へのオンライン授業
- ・入院中や不登校の生徒への授業配信
- ・企業や大学によるオンライン授業

臨時休業や学級閉鎖等の対応でオンライン学習をしたとの記述が多い。入院中や不登校の生徒に対して学習保証としての授業を行っている学校もある。企業や情報センター及び海外とのリモート授業等の活用もみられる。サービス(システム)の中で多かったのが「Google Classroom」「Google Meet」「Google Workspace for Education」「ZOOM」「Microsoft Teams」など多種にわたっている。

## (9) GIGAスクール構想に伴う情報機器の整備について

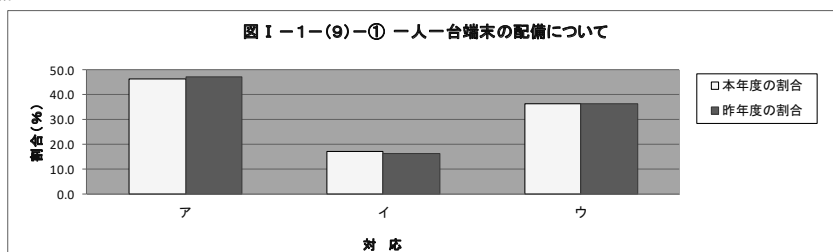
### ① 情報機器の整備について

あなたの学校では一人一台端末をどのように配備していますか。

- ア 設置者(都道府県等)が配備してくれる
- イ 設置者(都道府県等)が一部補助金を配り、個人あるいは学校単位で購入する
- ウ BYOD(生徒が自分の個人用端末を持ち込み)で使用する

表 I-1-(9)-① 一人一台端末の配備について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	1	0	17	18
東北	49	13	11	73
関東	25	32	56	113
北信越	31	1	14	46
東海	32	6	28	66
近畿	34	9	28	71
中国	16	11	33	60
四国	24	1	2	27
九州	55	26	21	102
合計	267	99	210	576
本年度の割合	46.4	17.2	36.5	100
昨年度の割合	47.3	16.4	36.3	100
一昨年の割合				



昨年追加した項目であるが、設置者による配備が46.4%と最も多く、BYODで使用する学校も36.5%である。

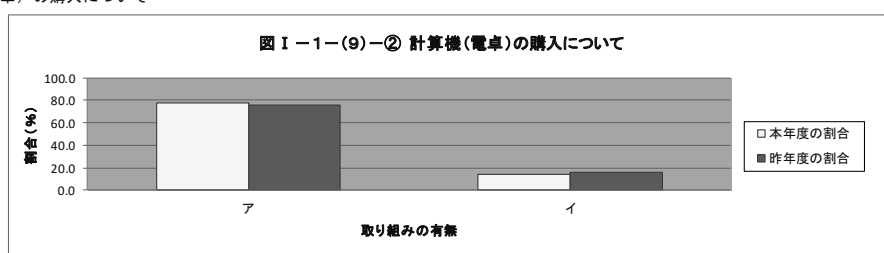
### ② 計算機(電卓)の購入について

①に伴い今まで活用していた計算機(電卓)を生徒に購入させますか。

- ア はい
- イ いいえ

表 I-1-(9)-② 計算機(電卓)の購入について

	ア	イ	合計
北海道	16	2	18
東北	69	5	74
関東	100	13	113
北信越	40	6	46
東海	0	7	7
近畿	51	21	72
中国	52	8	60
四国	21	6	27
九州	90	14	104
合計	439	82	521
本年度の割合	77.6	14.5	92
昨年度の割合	76.2	16.5	
一昨年の割合			



昨年追加した項目であるが、購入させている学校が77.6%である。

## 2 教育課程についてのまとめ

- (1) 編成上の基本的な考え方について  
毎年の傾向に大きな変化はなく、「専門的な技術・技能教育の定着」が42.8%、次に「基礎的な学力の定着」が41.2%と続いている。
- (2) 取り組む内容について  
取り組む内容については、「基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用」が35.8%で最も多く、続いて「職業教育」「学習習慣の確立」(R4とは逆に)、「安全教育の推進」の順で取り組まれている。
- (3) 卒業までの履修単位について  
卒業までの履修単位について全員履修の共通科目の単位数は、48単位をピークに45～51単位が多い。全員履修の専門科目の単位数は、34～36単位が多く、単位数のばらつきが大きい。共通科目の選択単位数は、1～8単位が多い。また、進学対応のため25単位以上も一定数ある。専門科目及び共通科目の選択単位数は同様の傾向である。「課題研究」は3単位の学校が最も多く67.6%、卒業までの履修総単位数は88～90単位が圧倒的に多い。また、それ以上設定している学校は27.9%ある。卒業に必要な修得単位数は、75単位以下の学校が多いが、次に、90～91単位、続いて80～81単位が多く、傾向に変化はみられない。
- (4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について  
新学習指導要領を踏まえた予定単位数については、93.0%の学校が決定済である。「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」はいずれも標準単位を履修する学校が多く、理科は「科学と人間生活」「化学基礎」続いて「物理基礎」を2単位履修する学校が多い。
- (5) 進学希望者の指導について  
進学希望者の指導については教育課程上で対応している学校が68.7%で、そのほとんどは選択教科で対応している。教科では、「数学」が最も多く、次に「英語」である。教育課程以外の対応では、平日の課外授業が52.5%、長期休業中が39.5%であり、複数の時期で対応していることが伺える。
- (6) 大学入試について  
大学入学共通テストを受験する学校は39.2%で、そのうち受験者数は「5名以内」が53.3%と最も多いが、昨年度に比べ約10%減少した。また、21名以上受験している学校は31.3%で逆に8.6%増加している。対応の方法としては、「教育課程上で対応」が33.8%と微減し、多くの学校は教育課程以外で対応している。また、対応している教科は、実際の受験科目と同様の傾向であり「数学」「英語」が多く、続いて「国語」「物理」の順となっている。
- (7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて  
使用機器については、プロジェクタの活用が最も多いが、昨年度に比べ減少傾向にあり、ビデオ、書画カメラの活用も減少傾向にある。一方、タブレット、電子黒板などの活用が増えている。また、IoT技術、人工知能についての取り組みも微増しているが、更に進めていくことが求められる。
- (8) 遠隔システムについて  
授業で20.0%の学校が利用しているが、新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり減少傾向にある。ただし、臨時休業や学級閉鎖等の対応でオンライン学習での活用事例が多い。サービス(システム)の中で多かったのが「Google Classroom」「Google Meet」「Google Workspace for Education」「ZOOM」「Microsoft Teams」など多種にわたっている。
- (9) GIGAスクール構想に伴う情報機器の整備について  
情報機器の整備については、設置者による配備が46.4%と昨年度に比べ微減したが最も多く、BYODで使用する学校も昨年度とほぼ同じで36.5%となっている。  
設置者による配備の促進を期待したい。  
また、計算機(電卓)の購入については、購入させる学校が77.6%と多く、昨年度の76.2%を上回っている。

## II 学校改革について

### ○ 調査目的

基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、生徒一人ひとりの個性に応じ、その能力を最大限に伸ばす創意工夫に富んだ教育活動を行うことが重要である。そこで、本年度も学校改革・活性化、職員の意識改革、長期休業期間の活用法などについて調査した。

## 1. 学校改革・活性化について

### (1) 学校改革・学校活性化について

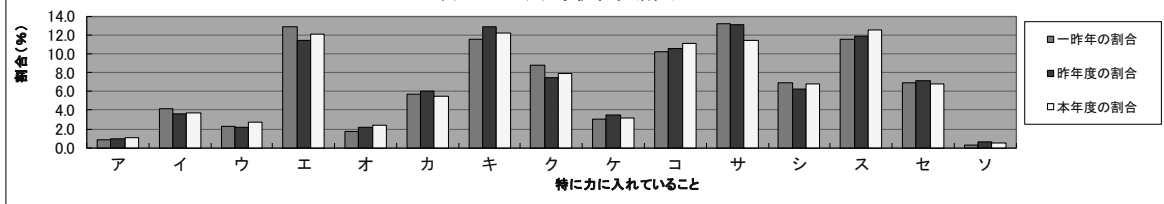
学校改革・学校活性化で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

- ア 学校の統合      イ 学科の新設や改編      ウ 入学者選抜の見直し  
 エ 特色ある教育課程の編成      オ 学校評価      カ 職員の意識改革  
 キ ものづくり      ク 挨拶・服装・マナー指導      ケ 進学指導  
 コ 就職指導      サ 資格指導      シ 部活動      ス 地域との連携  
 セ 企業や他の教育機関との連携      ソ その他

表Ⅱ-1-1 (1) 学校改革・活性化について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	合計
北海道	1	0	0	10	1	6	4	3	1	5	3	1	9	6	0	50
東北	7	6	6	22	4	10	30	14	5	24	34	14	33	11	1	221
関東	1	15	17	45	8	17	35	29	15	33	42	11	26	29	2	325
北信越	2	5	1	17	2	6	15	8	3	10	16	9	29	13	2	138
東海	0	8	1	21	6	12	21	20	5	20	13	14	26	22	1	190
近畿	5	10	5	36	7	10	20	16	7	25	16	15	15	13	1	201
中国	0	5	5	15	4	10	26	12	3	22	21	11	31	5	0	170
四国	2	1	2	10	1	2	15	7	3	6	12	8	10	4	1	84
九州	0	13	9	28	7	20	41	24	12	43	37	32	33	12	0	311
合計	18	63	46	204	40	93	207	133	54	188	194	115	212	115	8	1690
本年度の割合	1.1	3.7	2.7	12.1	2.4	5.5	12.2	7.9	3.2	11.1	11.5	6.8	12.5	6.8	0.5	100
昨年度の割合	0.9	3.6	2.2	11.5	2.2	6.0	12.9	7.5	3.5	10.6	13.1	6.3	11.9	7.2	0.6	100
一昨年の割合	0.8	4.1	2.3	12.9	1.7	5.7	11.6	8.8	3.0	10.2	13.3	6.9	11.6	6.9	0.3	100

図Ⅱ-1-1 (1) 学校改革・活性化について



「地域との連携」が12.5%と最も多いが、増加傾向にあるのは「就職指導」である。

### (2) 職員の意識改革について

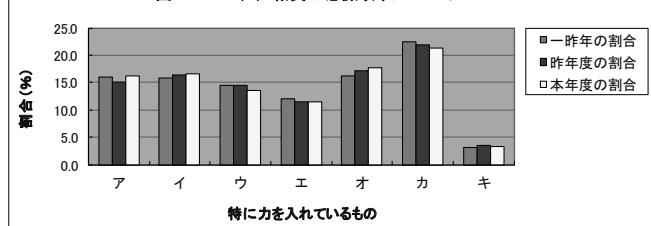
職員の意識改革で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

- ア 企業の人を招いての研修会・懇談会  
 イ 企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣  
 ウ 職員グループによる学校の課題の研究      エ 教員評価システムの活用  
 オ 保護者、地域への授業公開      カ 管理職による職員への積極的な情報の提示  
 キ その他

表Ⅱ-1-1 (2) 職員の意識改革について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	10	6	4	4	6	11	0	41
東北	23	30	15	23	24	29	5	149
関東	26	34	27	19	50	49	7	212
北信越	15	11	14	8	19	20	7	94
東海	25	20	21	22	28	23	3	142
近畿	20	18	19	12	20	33	8	130
中国	22	18	23	13	17	23	2	118
四国	8	13	2	5	13	7	1	49
九州	37	39	29	25	25	49	4	208
合計	186	189	154	131	202	244	37	1143
本年度の割合	16.3	16.5	13.5	11.5	17.7	21.3	3.2	100
昨年度の割合	15.1	16.4	14.6	11.5	17.1	21.8	3.4	100
一昨年の割合	15.9	15.9	14.6	12.0	16.2	22.4	3.1	100

図Ⅱ-1-1 (2) 職員の意識改革について



最も多いのは「管理職による職員への積極的な情報の提示」であるが、「保護者、地域への授業公開」の増加傾向が続いている。

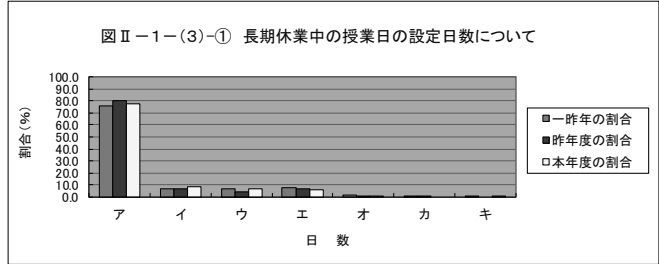
### (3) 長期休業期間について

#### ① 長期休業中の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数について

長期休業中の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数についてお答えください。  
 ア 設定していない      イ 3日以内      ウ 5日以内      エ 10日以内  
 オ 15日以内      カ 20日以内      キ 20日を超える

表Ⅱ-1-(3)-① 長期休業中の授業日の設定日数について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	16	1	1	0	0	0	0	18
東北	61	7	2	4	0	0	1	75
関東	105	4	3	0	0	0	0	112
北信越	32	7	6	1	0	0	0	46
東海	57	7	1	2	0	0	0	67
近畿	43	3	12	14	0	0	1	73
中国	36	12	7	3	1	0	0	59
四国	21	3	0	2	0	0	0	26
九州	78	8	7	10	1	0	0	104
合計	449	52	39	36	2	0	2	580
本年度の割合	77.4	9.0	6.7	6.2	0.3	0.0	0.3	100
昨年度の割合	80.1	6.7	4.5	7.1	1.2	0.3	0.0	100
一昨年の割合	75.7	6.7	6.9	7.6	2.0	0.7	0.4	100



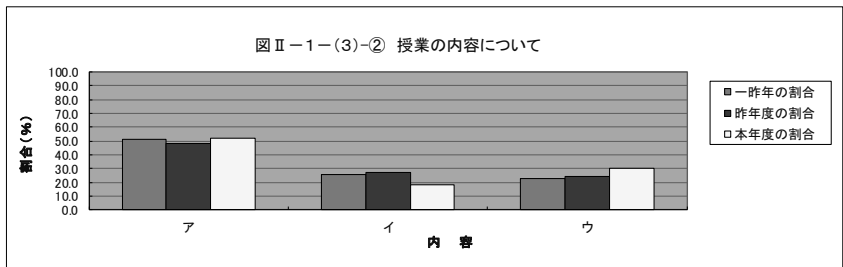
「設定していない」が77.4%と最も多い。

#### ② 授業の内容

授業の内容についてお答えください。  
 ア 通常日課の授業      イ 資格取得のための特別授業      ウ その他

表Ⅱ-1-(3)-② 授業の内容について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	4	1	1	6
東北	21	5	9	35
関東	19	18	14	51
北信越	10	7	7	24
東海	22	5	14	41
近畿	29	5	16	50
中国	24	6	8	38
四国	6	3	5	14
九州	28	7	21	56
合計	163	57	95	315
本年度の割合	51.7	18.1	30.2	100
昨年度の割合	48.7	27.0	24.3	100
一昨年の割合	51.1	26.1	22.8	100



「通常日課の授業」が一番多い。

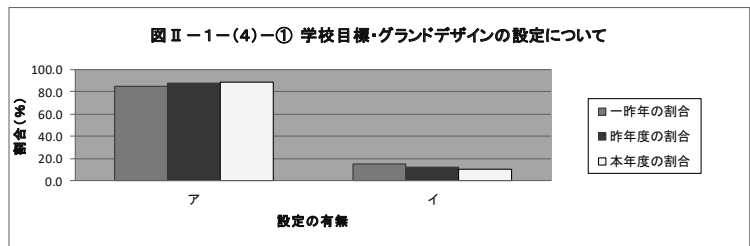
### (4) 学校目標・学校評価・グランドデザインについて

#### ① 学校目標・学校評価・グランドデザインについて

学校目標・グランドデザインを設定していますか。  
 ア はい      イ いいえ

表Ⅱ-1-(4)-① 学校目標・グランドデザインの設定について

	ア	イ	合計
北海道	18	0	18
東北	67	8	75
関東	104	9	113
北信越	41	5	46
東海	0	8	8
近畿	65	8	73
中国	49	10	59
四国	26	1	27
九州	96	8	104
合計	466	57	523
本年度の割合	89.1	10.9	100
昨年度の割合	87.9	12.1	100
一昨年の割合	84.5	15.5	100



一昨年度から新しく追加した項目であるが、89.1%の学校が設定している。

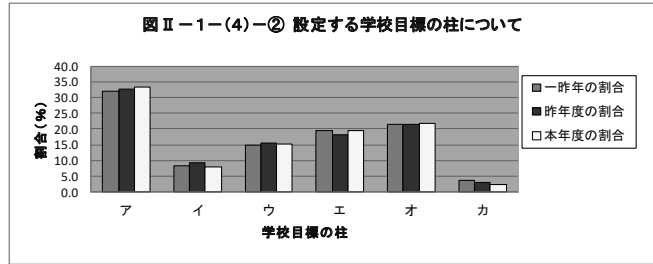
## ② 設定する学校目標の柱について

設定する学校目標の柱は何ですか。(3つ以内)

ア 教科指導 イ 教科外指導 ウ 学校運営 エ 生徒指導 オ 地域連携 カ その他

表Ⅱ-1-(4)-② 設定する学校目標の柱について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	16	1	6	13	15	1	52
東北	60	15	23	33	42	2	175
関東	87	24	35	51	48	6	251
北信越	32	8	12	15	29	2	98
東海	47	13	22	28	31	4	145
近畿	56	13	28	29	27	4	157
中国	39	8	19	21	30	3	120
四国	21	6	9	8	11	2	57
九州	71	14	42	52	45	6	230
合計	429	102	196	250	278	30	1285
本年度の割合	33.4	7.9	15.3	19.5	21.6	2.3	100
昨年度の割合	32.6	9.1	15.4	18.3	21.6	3.0	100
一昨年の割合	32.0	8.4	15.0	19.4	21.4	3.8	100



その他

- ・キャリア教育、進路指導
- ・ものづくり、ものづくり人材育成
- ・主体的な学び
- ・グローバル化への対応

「教科指導」が33.4%と最も多く、次いで「地域連携」「生徒指導」の順に多い。

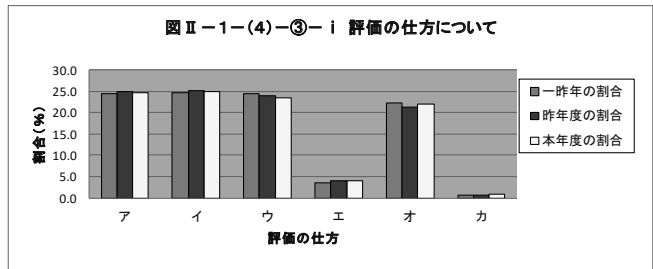
## ③ 学校評価について

i 評価の仕方はどのようにしていますか？(活用しているものすべて)

ア 生徒評価 イ 保護者評価 ウ 学校評議員評価 エ 地域住民による評価  
オ 教職員評価 カ その他

表Ⅱ-1-(4)-③-i 評価の仕方について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	17	18	17	5	17	0	74
東北	67	67	59	6	65	3	267
関東	98	91	84	28	78	1	380
北信越	31	31	38	8	27	0	135
東海	37	45	51	4	40	3	180
近畿	64	61	45	9	55	2	236
中国	47	45	39	3	38	3	175
四国	21	25	23	7	22	2	100
九州	68	71	74	5	62	3	283
合計	450	454	430	75	404	17	1830
本年度の割合	24.6	24.8	23.5	4.1	22.1	0.9	100
昨年度の割合	24.9	25.0	24.0	4.1	21.3	0.6	100
一昨年の割合	24.5	24.6	24.5	3.5	22.2	0.7	100



その他

- ・学校運営協議会による評価
- ・学校関係者評価委員による評価
- ・公開授業週間等を活用し、近隣中学校生徒からアンケートを実施

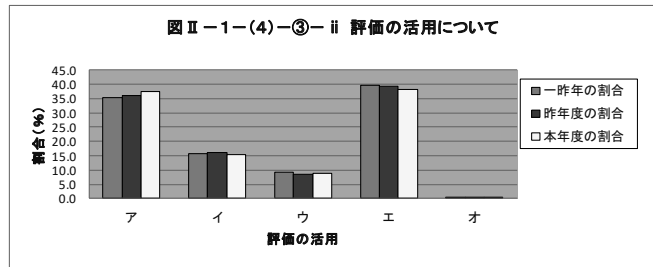
「地域住民による評価」を実施している学校は4.1%と少ない。

ii どのように活用していますか。

ア 次年度の学校目標設定に活かす イ 生徒指導に活かす ウ 学校PRに活用する  
エ 学校運営の改善に活かす オ その他

表Ⅱ-1-(4)-③-ii 評価の活用について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	16	10	4	16	0	46
東北	57	33	10	57	1	158
関東	76	28	17	86	0	207
北信越	37	14	14	32	0	97
東海	48	18	13	48	1	128
近畿	54	13	9	53	0	129
中国	50	15	10	41	0	116
四国	20	8	4	23	0	55
九州	67	34	20	75	0	196
合計	425	173	101	431	2	1132
本年度の割合	37.5	15.3	8.9	38.1	0.2	100
昨年度の割合	35.9	16.3	8.5	39.1	0.2	100
一昨年の割合	35.4	15.6	9.3	39.6	0.2	100



「学校運営の改善に活かす」「次年度の学校目標設定に活かす」の順に多い。

## 2. 学校改革についてのまとめ

### (1) 学校改革・学校活性化について

特に力を入れていることについて重要視されているのは、「地域との連携」「ものづくり」「特色ある教育課程の編成」「資格指導」「就職指導」の順であり、その中でも「地域との連携」「就職指導」については増加傾向にある。

### (2) 職員の意識改革について

職員の意識改革で特に力を入れているものは、「管理職による職員への積極的な情報の提示」「保護者、地域への授業公開」「企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣」が多い。「保護者、地域への授業公開」「企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣」は昨年に比べて増加している。

### (3) 長期休業期間について

長期休業中の短縮による授業は、「設定していない」が77.4%である。設定している学校は、「3日以内」が一番多い。

### (4) 学校目標・学校評価について

学校目標・グランドデザインを設定している学校が89.1%であり、「教科指導」を柱にしている学校が33.4%である。また、学校評価については「地域住民による評価」が4.1%と少なく、「学校運営の改善に活かす」「次年度の学校目標設定に活かす」の順で活用されている。

### Ⅲ 産学連携・地域連携について

#### ○ 調査目的

望ましい勤労観、職業観の育成や社会への奉仕精神の涵養とともに、開かれた学校づくりを推進するために、各学校では様々な取り組みを行っている。一方、近年の若者を中心としたものづくり離れ、熟練技能者の高齢化などは、我が国の経済発展を担うものづくり基盤技術の継承を困難なものにしつつある。

そこで、地域や産業界とのパートナーシップの確立や、ものづくりに関する学校教育の充実に資するよう、学校と地域との連携状況、産学の連携状況を調査した。

#### 1. インターンシップについて

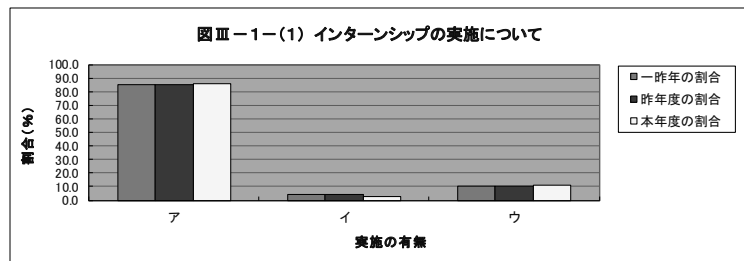
##### (1) インターンシップの実施について

インターンシップの実施について伺います。

ア 実施している      イ 検討中      ウ 実施していない

表Ⅲ-1-(1) インターンシップの実施について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	18	0	0	18
東北	71	0	4	75
関東	98	3	11	112
北信越	43	1	2	46
東海	58	2	7	67
近畿	52	3	18	73
中国	49	3	7	59
四国	25	0	2	27
九州	86	5	12	103
合計	500	17	63	580
本年度の割合	86.2	2.9	10.9	100
昨年度の割合	85.3	4.1	10.5	100
一昨年の割合	85.1	4.5	10.5	100



「実施している」が86.2%で、「検討中」「実施なし」は少ない。

##### (2) 実施している学校の実施内容について

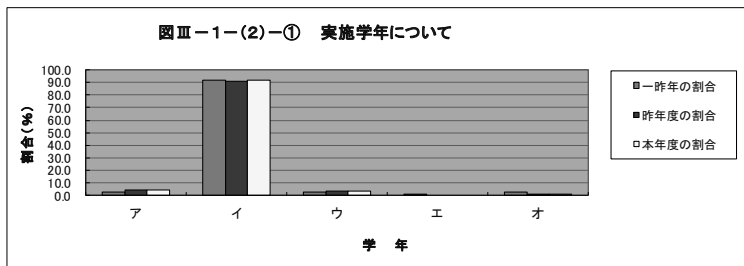
###### ① 実施学年について

実施学年についてお答えください。

ア 1年      イ 2年      ウ 3年      エ 4年      オ その他

表Ⅲ-1-(2)-① 実施学年について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	1	16	1	0	0	18
東北	0	69	1	0	0	70
関東	7	87	1	0	3	98
北信越	2	40	1	0	0	43
東海	1	55	1	0	1	58
近畿	5	41	3	0	1	50
中国	4	42	3	0	0	49
四国	0	21	4	0	0	25
九州	0	84	1	0	1	86
合計	20	455	16	0	6	497
本年度の割合	4.0	91.5	3.2	0.0	1.2	100
昨年度の割合	4.6	90.9	3.2	0.0	1.2	100
一昨年の割合	3.1	91.6	2.6	0.2	2.4	100



「2年生」の実施が91.5%と最も多い。

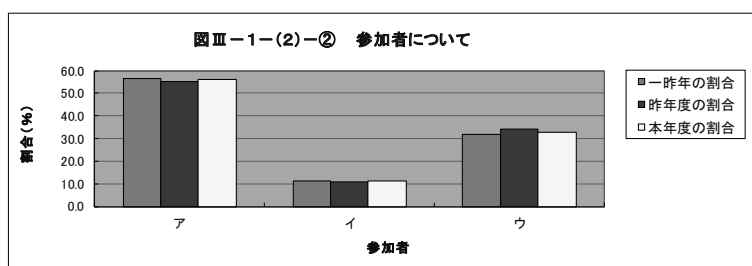
###### ② 参加者について

参加者についてお答えください。

ア 学年全員      イ 科の生徒全員      ウ 一部の生徒

表Ⅲ-1-(2)-② 参加者について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	14	3	1	18
東北	46	15	9	70
関東	47	5	45	97
北信越	21	7	15	43
東海	23	3	31	57
近畿	25	2	24	51
中国	24	3	22	49
四国	15	6	4	25
九州	63	11	12	86
合計	278	55	163	496
本年度の割合	56.0	11.1	32.9	100
昨年度の割合	55.4	10.5	34.1	100
一昨年の割合	56.6	11.4	32.0	100



「学年全員」での実施が56.0%である。

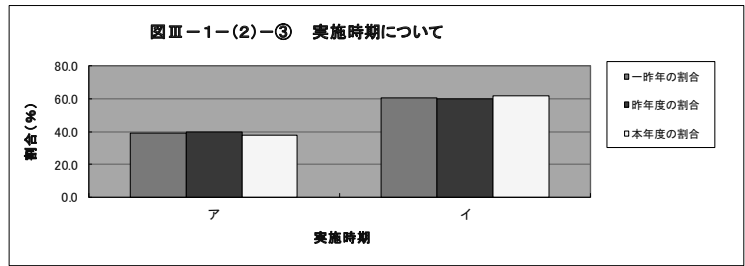


### ③ 実施時期について

実施時期についてお答えください。  
 ア 長期休業中      イ 授業日 ( ) 月

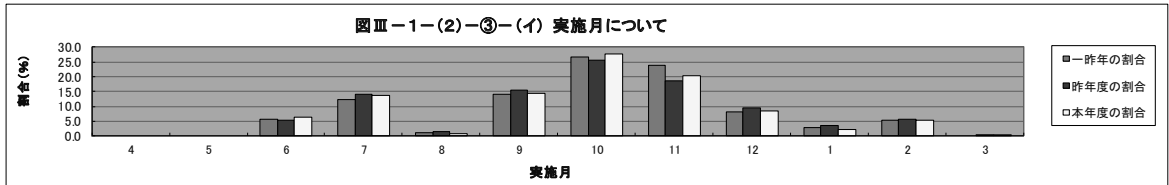
表Ⅲ-1-(2)-③ 実施時期について

	ア	イ	合計
北海道	2	16	18
東北	10	58	68
関東	40	51	91
北信越	20	22	42
東海	37	21	58
近畿	21	30	51
中国	25	22	47
四国	6	17	23
九州	19	60	79
合計	180	297	477
本年度の割合	37.7	62.3	100
前年度の割合	40.1	59.9	100
一昨年度の割合	39.2	60.8	100



表Ⅲ-1-(2)-③-(イ) 実施時期 ( ) 月

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
北海道	0	0	2	1	0	11	1	1	0	0	0	0	16
東北	0	0	8	8	1	18	18	4	1	0	2	0	60
関東	0	0	2	5	0	4	14	12	7	2	8	0	54
北信越	0	0	2	9	1	0	6	3	0	0	0	0	21
東海	0	0	0	3	0	2	6	8	0	0	0	0	19
近畿	0	0	1	3	0	2	4	10	5	2	1	1	29
中国	0	0	2	2	0	1	4	6	3	1	3	0	22
四国	0	0	2	1	1	2	6	4	0	2	1	0	19
九州	0	0	1	10	0	4	25	14	10	0	1	0	65
合計	0	0	20	42	3	44	84	62	26	7	16	1	305
本年度の割合	0.0	0.0	6.6	13.8	1.0	14.4	27.5	20.3	8.5	2.3	5.2	0.3	100
前年度の割合	0.0	0.0	5.3	14.0	1.7	15.6	25.6	18.6	9.6	3.7	5.6	0.3	100
一昨年度の割合	0.0	0.0	5.7	12.3	1.3	14.0	26.7	23.7	8.0	3.0	5.3	0.0	100



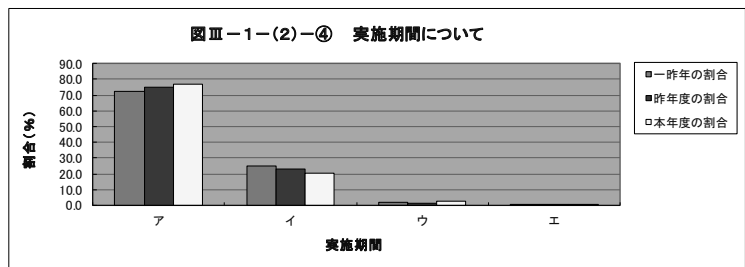
授業日実施が62.3%、長期休業中が37.7%であり傾向に大きな変化はない。授業日では「10月」と「11月」実施が多く、年によって数ポイントの変動がある。

### ④ 実施期間について

実施期間についてお答えください。  
 ア 3日以内      イ 4～5日      ウ 1～2週間      エ 2週間以上

表Ⅲ-1-(2)-④ 実施期間について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	15	3	0	0	18
東北	63	6	1	1	71
関東	69	26	2	0	97
北信越	38	5	0	0	43
東海	48	8	1	0	57
近畿	28	22	1	0	51
中国	37	9	3	0	49
四国	18	5	2	0	25
九州	67	17	2	0	86
合計	383	101	12	1	497
本年度の割合	77.1	20.3	2.4	0.2	100
前年度の割合	74.8	23.3	1.6	0.2	100
一昨年度の割合	72.5	25.1	2.3	0.2	100



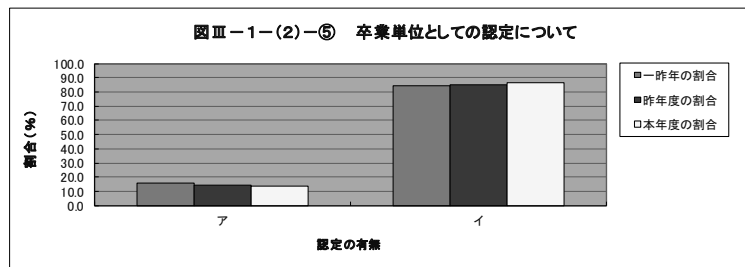
「3日以内」が77.1%と最も多く、増加傾向で、逆に「4～5日」の学校が減少している。

### ⑤ 卒業単位としての認定について

卒業単位としての認定の有無についてお答えください。  
 ア する      イ しない

表Ⅲ-1-(2)-⑤ 卒業単位としての認定について

	ア	イ	合計
北海道	2	16	18
東北	4	65	69
関東	21	75	96
北信越	6	36	42
東海	7	51	58
近畿	6	44	50
中国	10	39	49
四国	7	18	25
九州	4	80	84
合計	67	424	491
本年度の割合	13.6	86.4	100
前年度の割合	14.8	85.2	100
一昨年度の割合	15.7	84.3	100



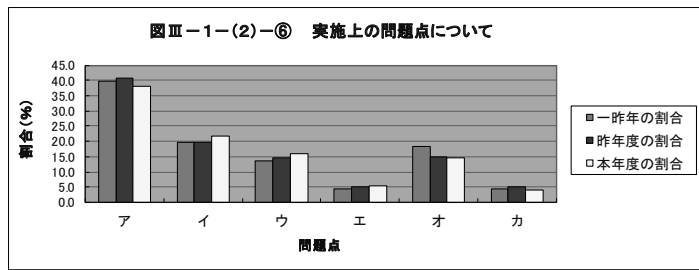
卒業単位として認定している学校が13.6%で減少傾向である。

## ⑥ 実施上の問題点について

実施上の問題点はどんなことですか。(3つ以内)  
 ア 受け入れ企業の問題      イ 事前・事後の打合せ      ウ 校内指導体制  
 エ カリキュラムとの関連      オ 安全対策      カ その他

表Ⅲ-1-(2)-⑥ 実施上の問題点について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	12	7	7	4	6	0	36
東北	42	21	17	9	22	7	118
関東	66	38	29	11	23	6	173
北信越	34	13	12	5	8	5	77
東海	34	21	23	3	14	4	99
近畿	30	27	16	3	10	9	95
中国	30	19	11	9	15	2	86
四国	19	8	5	2	3	1	38
九州	74	42	22	3	29	2	172
合計	341	196	142	49	130	36	894
本年度の割合	38.1	21.9	15.9	5.5	14.5	4.0	100
昨年度の割合	40.7	19.6	14.6	5.1	15.0	5.1	100
一昨年度の割合	39.9	19.7	13.6	4.4	18.2	4.2	100



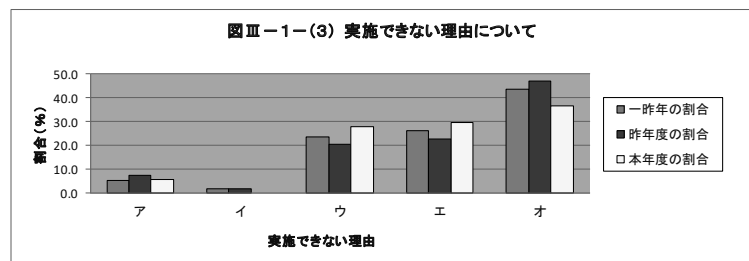
「受け入れ企業の問題」が38.1%と最も多く、「安全対策」が減少している。

## (3) インターンシップが実施できない理由について

インターンシップが実施できない理由は何ですか。(複数回答可)  
 ア 地域に企業が少ない      イ 費用      ウ 指導体制  
 エ 日程      オ その他

表Ⅲ-1-(3) 実施できない理由について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	0	0	0	0	0	0
東北	1	0	1	1	2	5
関東	0	0	3	5	9	17
北信越	0	0	0	1	2	3
東海	1	0	5	3	1	10
近畿	1	0	8	8	11	28
中国	0	0	6	5	4	15
四国	0	0	1	2	0	3
九州	3	0	5	6	9	23
合計	6	0	29	31	38	104
本年度の割合	5.8	0.0	27.9	29.8	36.5	100
昨年度の割合	7.5	1.9	20.8	22.6	47.2	100
一昨年度の割合	5.2	1.7	23.5	26.1	43.5	100



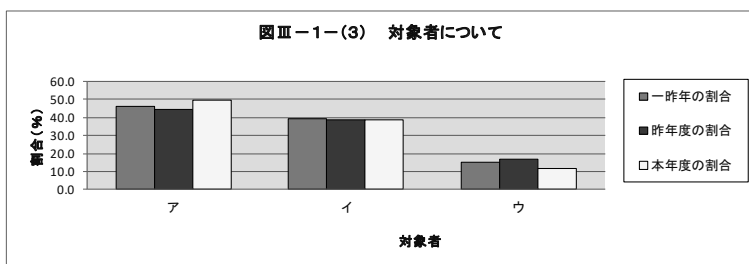
実施できない学校の理由は「指導体制」、「日程」を上げるところが多いが、「その他」も多い。

## (4) 2022年度以降の実施対象者について(全ての学校に伺います)

実施対象者についてお答えください。  
 ア 全員に実施している      イ 一部の生徒に実施する      ウ 全く実施しない

表Ⅲ-1-(3) 対象者について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	15	3	0	18
東北	46	22	5	73
関東	48	50	14	112
北信越	25	19	2	46
東海	21	38	7	66
近畿	23	27	17	67
中国	25	27	5	57
四国	16	8	3	27
九州	59	24	14	97
合計	278	218	67	563
本年度の割合	49.4	38.7	11.9	100
昨年度の割合	44.5	38.9	16.6	100
一昨年度の割合	46.0	39.1	15.0	100



昨年度までの傾向から逆転し、「全員に実施している」が増加して「全く実施しない」が減少している。

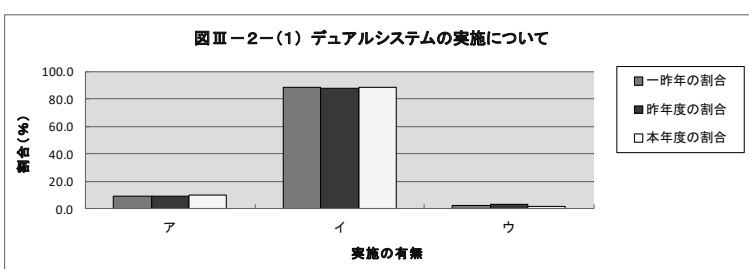
## 2. デュアルシステムについて

### (1) デュアルシステムの実施について

デュアルシステムの実施について伺います。  
 ア 実施している      イ 実施していない      ウ 検討中

表Ⅲ-2-(1) デュアルシステムの実施について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	1	16	1	18
東北	4	70	1	75
関東	19	91	3	113
北信越	8	38	0	46
東海	6	59	1	66
近畿	8	63	2	73
中国	1	58	0	59
四国	3	23	1	27
九州	6	94	2	102
合計	56	512	11	579
本年度の割合	9.7	88.4	1.9	100
昨年度の割合	9.0	87.9	3.1	100
一昨年度の割合	8.9	88.5	2.6	100



88.4%の学校が未実施である。

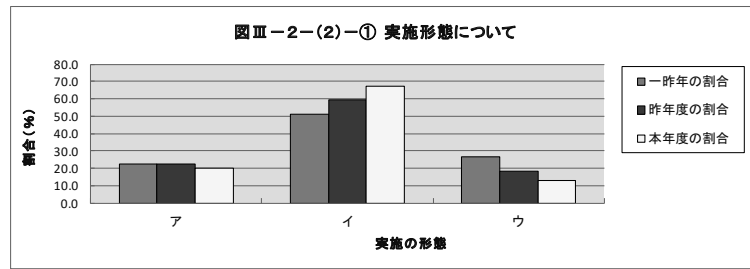
## (2) デュアルシステムの実施内容について

### ① 実施形態について

実施形態をお答えください。  
 ア 長期休業中に実施      イ 科目に割り当て週毎に実施      ウ その他

表Ⅲ-2-(2)-① 実施形態について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	0	0	1	1
東北	2	1	1	4
関東	2	14	2	18
北信越	4	4	0	8
東海	0	4	2	6
近畿	1	7	0	8
中国	0	1	0	1
四国	0	3	0	3
九州	2	3	1	6
合計	11	37	7	55
本年度の割合	20.0	67.3	12.7	100
前年度の割合	22.2	59.3	18.5	100
一昨年の割合	22.6	50.9	26.4	100



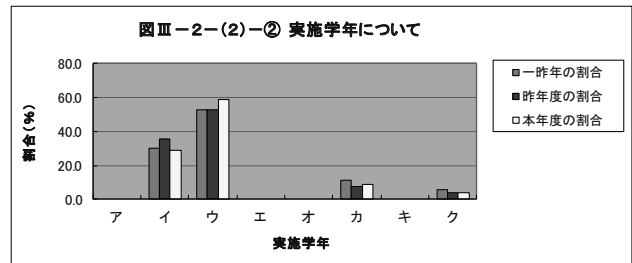
「科目に割り当て週毎に実施」が67.3%と最も多く、増加している。

### ② 実施学年について

実施学年をお答えください。  
 ア 1年      イ 2年      ウ 3年      エ 4年  
 オ 1～2年      カ 2～3年      キ 3～4年      ク 3年間以上

表Ⅲ-2-(2)-② 実施学年について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	合計
北海道	0	0	1	0	0	0	0	0	1
東北	0	2	1	0	0	1	0	0	4
関東	0	5	10	0	0	3	0	1	19
北信越	0	4	4	0	0	0	0	0	8
東海	0	1	3	0	0	1	0	1	6
近畿	0	0	8	0	0	0	0	0	8
中国	0	1	0	0	0	0	0	0	1
四国	0	0	3	0	0	0	0	0	3
九州	0	3	3	0	0	0	0	0	6
合計	0	16	33	0	0	5	0	2	56
本年度の割合	0.0	28.6	58.9	0.0	0.0	8.9	0.0	3.6	100
前年度の割合	0.0	35.8	52.8	0.0	0.0	7.5	0.0	3.8	100
一昨年の割合	0.0	30.2	52.8	0.0	0.0	11.3	0.0	5.7	100



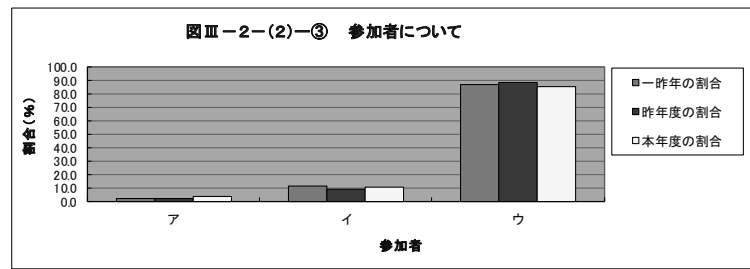
「3年」または「2年」の単年度実施がほとんどである。

### ③ 参加者について

参加者をお答えください。  
 ア 学年全員      イ 科の生徒全員      ウ 一部の生徒

表Ⅲ-2-(2)-③ 参加者について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	0	0	1	1
東北	0	0	4	4
関東	0	4	15	19
北信越	0	1	7	8
東海	1	0	5	6
近畿	1	1	6	8
中国	0	0	1	1
四国	0	0	3	3
九州	0	0	6	6
合計	2	6	48	56
本年度の割合	3.6	10.7	85.7	100
前年度の割合	1.9	9.4	88.7	100
一昨年の割合	1.9	11.3	86.8	100



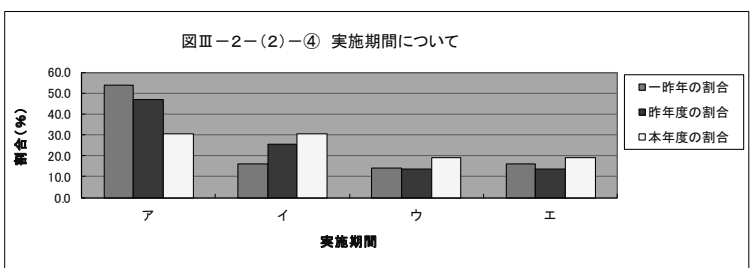
参加者は「一部の生徒」が85.7%である。

### ④ 実施期間について

実施期間をお答えください。  
 ア 1～2ヵ月程度      イ 3ヵ月程度      ウ 半年程度      エ 1年以上

表Ⅲ-2-(2)-④ 実施期間について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	1	0	0	0	1
東北	2	0	1	0	3
関東	4	8	3	3	18
北信越	4	2	0	1	7
東海	0	1	1	4	6
近畿	3	2	3	0	8
中国	0	0	0	1	1
四国	0	2	1	0	3
九州	2	1	1	1	5
合計	16	16	10	10	52
本年度の割合	30.8	30.8	19.2	19.2	100
前年度の割合	47.1	25.5	13.7	13.7	100
一昨年の割合	54.0	16.0	14.0	16.0	100



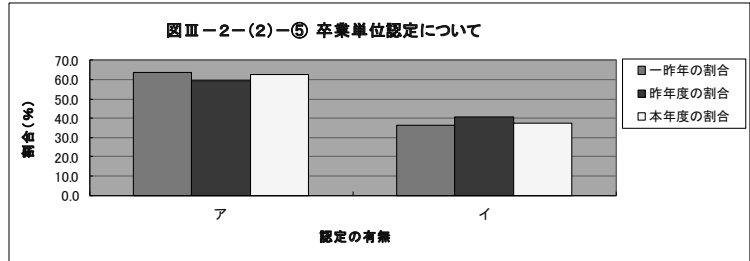
「3ヵ月程度」が増加し、「1～2ヵ月程度」が減少して、同じ30.8%である。

⑤ 卒業の単位としての認定の有無について

卒業の単位としての認定についてお答えください。  
 ア する                      イ しない

表Ⅲ-2-(2)-⑤ 卒業単位認定について

	ア	イ	合計
北海道	1	0	1
東北	3	1	4
関東	13	6	19
北信越	5	3	8
東海	4	2	6
近畿	3	5	8
中国	1	0	1
四国	3	0	3
九州	2	4	6
合計	35	21	56
本年度の割合	62.5	37.5	100
前年度の割合	59.6	40.4	100
一昨年の割合	63.5	36.5	100



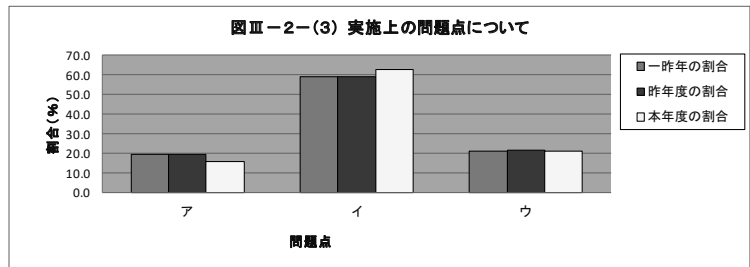
認定する学校は62.5%である。

(3) デュアルシステムを実施していない学校の実施上の問題点について

実施上の問題点についてお答えください。(複数回答可)  
 ア 受け入れ企業が少ないから                      イ 時間割上、編成できないから                      ウ その他

表Ⅲ-2-(3) 実施上の問題点について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	2	13	2	17
東北	21	47	16	84
関東	8	63	26	97
北信越	3	29	11	43
東海	13	43	12	68
近畿	2	47	18	67
中国	10	40	15	65
四国	8	13	4	25
九州	25	66	19	110
合計	92	361	123	576
本年度の割合	16.0	62.7	21.4	100
前年度の割合	19.5	59.1	21.4	100
一昨年の割合	19.7	59.1	21.2	100



実施していない学校の62.7%が「時間割上、編成できないから」と回答している。

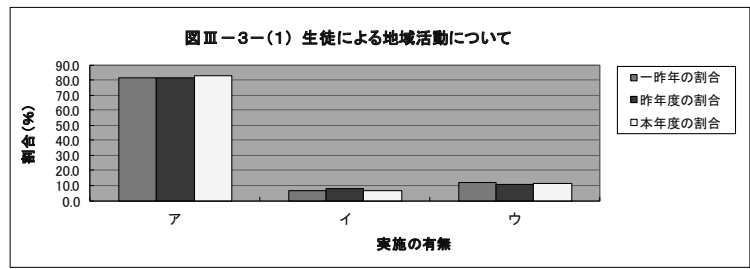
3. 地域との連携について

(1) 生徒による地域活動について

生徒による地域活動を実施していますか。  
 ア 実施している                      イ 検討中(する方向で)                      ウ 実施していない

表Ⅲ-3-(1) 生徒による地域活動について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	16	1	1	18
東北	66	4	4	74
関東	82	11	19	112
北信越	43	0	3	46
東海	60	5	2	67
近畿	57	3	13	73
中国	52	1	6	59
四国	24	2	1	27
九州	79	9	15	103
合計	479	36	64	579
本年度の割合	82.7	6.2	11.1	100
前年度の割合	81.2	7.8	11.0	100
一昨年の割合	81.6	6.5	11.9	100



「実施している」が82.7%である。

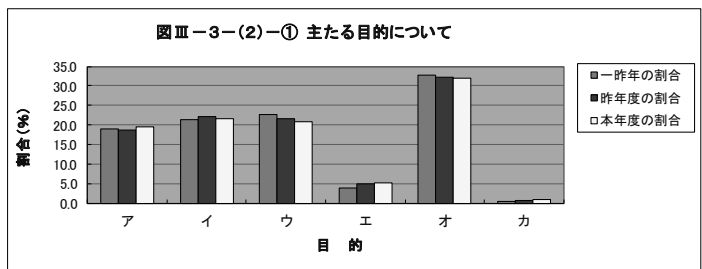
(2) (1)を実施している学校の実施内容について

① 主たる目的について

主たる目的をお答えください。(3つ以内)  
 ア 生徒の地域理解                      イ 地域の学校理解                      ウ 学校のPR                      エ 郷土愛の育成  
 オ 地域貢献                      カ その他

表Ⅲ-3-(2)-① 主たる目的について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	11	9	10	1	13	0	44
東北	41	37	25	16	59	2	180
関東	42	46	47	5	64	2	206
北信越	27	25	20	2	30	0	104
東海	21	35	37	8	51	1	153
近畿	21	28	27	13	49	2	140
中国	33	32	21	7	43	1	137
四国	12	14	14	3	17	1	61
九州	34	42	55	9	68	1	209
合計	242	268	256	64	394	10	1234
本年度の割合	19.6	21.7	20.7	5.2	31.9	0.8	100
前年度の割合	18.7	22.1	21.6	5.0	32.1	0.6	100
一昨年の割合	19.1	21.3	22.7	3.8	32.7	0.3	100



「地域貢献」が31.9%と最も多く、次いで「地域の学校理解」「学校のPR」の順となっている。

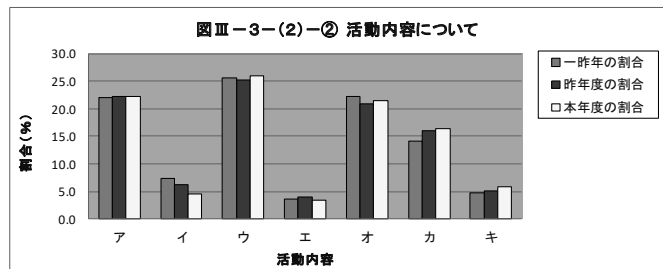
## ② 活動内容について

活動内容をお答えください。（3つ以内）

ア 清掃活動      イ 福祉施設等への訪問      ウ イベント（祭りなど）への参加  
エ 交通安全指導      オ ものづくり教室      カ 出前授業      キ その他

表Ⅲ-3-(2)-② 活動内容について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	6	0	11	1	11	8	2	39
東北	37	9	39	3	34	30	12	164
関東	38	8	56	7	42	34	10	195
北信越	21	4	26	5	19	12	5	92
東海	30	8	41	13	35	24	5	156
近畿	34	9	35	3	34	22	10	147
中国	30	6	37	3	23	22	9	130
四国	15	3	15	4	12	10	5	64
九州	54	8	50	3	47	33	12	207
合計	265	55	310	42	257	195	70	1194
本年度の割合	22.2	4.6	26.0	3.5	21.5	16.3	5.9	100
昨年度の割合	22.2	6.3	25.3	4.1	21.0	16.1	5.1	100
一昨年の割合	22.0	7.4	25.7	3.7	22.2	14.2	4.8	100



「イベントへの参加」が26.0%と最も多く、次いで「清掃活動」「ものづくり教室」の順となっている。

## キ その他の活動

その他の具体的な取り組み（主なものを記載）

- ・地域の課題解決のためのものづくり支援
- ・高齢者宅での専門性を生かした点検・修理等
- ・公民館など公共施設での電気器具清掃・整備
- ・アルコール噴霧器の製作・寄贈
- ・ベンチ、座椅子の製作・提供
- ・自治体推進プロジェクトに関連したものづくり
- ・サイバーセキュリティボランティア
- ・古民家のリノベーション
- ・小学校運動会グラウンド測量ボランティア
- ・地元小学校での授業補助
- ・あいさつ運動
- ・地域防災活動
- ・環境保全活動
- ・音楽部コンサート
- ・幼稚園児との交流（芋ほり、保育体験）
- ・地元企業の工場見学
- ・特別支援学校との連携
- ・農業体験、田んぼアート
- ・スマート農業への取り組み

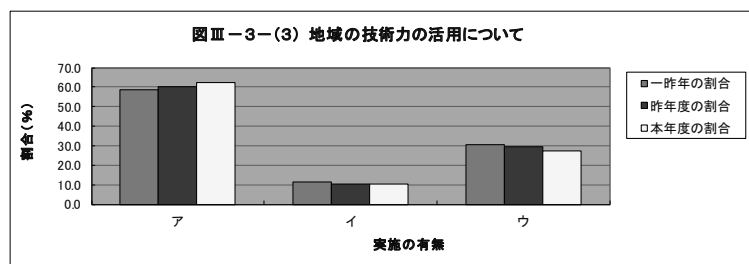
## (3) 地域の力を生徒の技術指導に生かすことについて

地域の力を生徒の技術指導に生かすことを実施していますか。

ア 実施している      イ 検討中〔する方向で〕      ウ 実施していない

表Ⅲ-3-(3) 地域の技術力の活用について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	11	4	3	18
東北	59	7	9	75
関東	62	9	42	113
北信越	36	2	8	46
東海	38	9	20	67
近畿	45	10	18	73
中国	35	1	21	57
四国	22	1	4	27
九州	52	18	34	104
合計	360	61	159	580
本年度の割合	62.1	10.5	27.4	100
昨年度の割合	60.2	10.5	29.3	100
一昨年の割合	58.5	11.1	30.4	100



「実施している」が62.1%で増加傾向である。

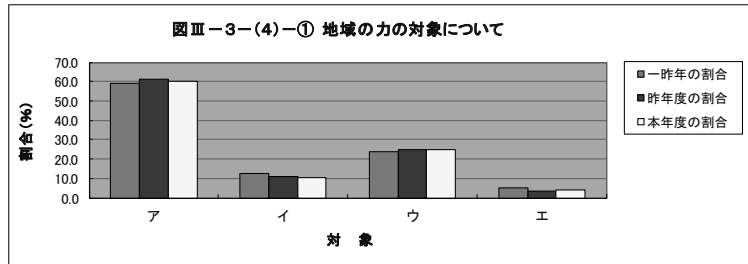
(4) (3) を実施している学校の実施内容について

① 地域の力の対象について

地域の力の対象をお答えください。(複数回答可)  
 ア 地場企業      イ 地域住民      ウ 近隣の大学・高専等      エ その他

表Ⅲ-3-(4)-① 地域の力の対象について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	15	1	8	1	25
東北	56	11	23	4	94
関東	60	6	33	5	104
北信越	37	6	17	0	60
東海	42	6	19	5	72
近畿	48	12	21	7	88
中国	37	11	9	0	57
四国	23	3	4	0	30
九州	63	11	23	5	102
合計	381	67	157	27	632
本年度の割合	60.3	10.6	24.8	4.3	100
昨年度の割合	61.0	10.8	24.6	3.6	100
一昨年度の割合	58.8	12.3	23.8	5.1	100



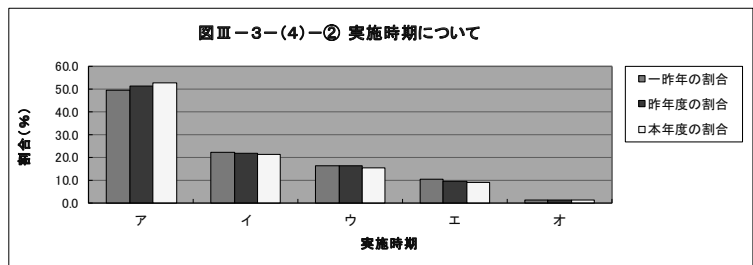
「地場企業」が60.3%と最も多い。

② 実施時期について

実施時期をお答えください。(複数回答可)  
 ア 授業中      イ 放課後      ウ 長期休業中      エ 週休日      オ その他

表Ⅲ-3-(4)-② 実施時期について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	14	7	1	1	0	23
東北	55	28	14	12	4	113
関東	57	16	23	13	2	111
北信越	37	16	9	3	1	66
東海	44	20	14	6	1	85
近畿	46	19	15	9	1	90
中国	33	12	12	8	0	65
四国	20	11	4	4	0	39
九州	59	19	14	5	1	98
合計	365	148	106	61	10	690
本年度の割合	52.9	21.4	15.4	8.8	1.4	100
昨年度の割合	51.2	21.9	16.3	9.4	1.2	100
一昨年度の割合	49.7	22.4	16.3	10.2	1.5	100



「授業中」が52.9%と最も多く、増加傾向である。

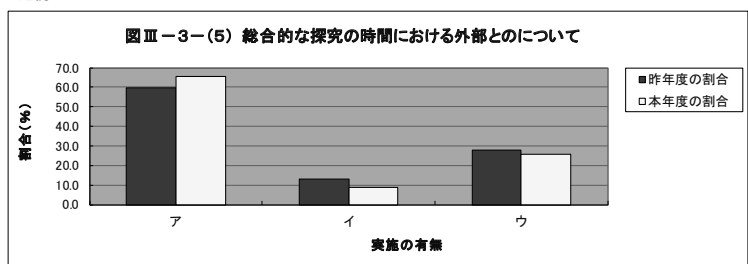
(5) 総合的な探究の時間(又は課題研究)における地域や外部機関との連携について

① 地域や外部機関との連携について

地域や外部機関との連携を行っていますか  
 ア 実施している      イ 検討中〔実施する方向で〕      ウ 実施していない

表Ⅲ-3-(5) 総合的な探究の時間における外部との連携について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	14	3	1	18
東北	59	3	13	75
関東	69	7	37	113
北信越	36	3	5	44
東海	46	3	18	67
近畿	44	8	21	73
中国	40	6	13	59
四国	20	1	6	27
九州	51	15	35	101
合計	379	49	149	577
本年度の割合	65.7	8.5	25.8	100
昨年度の割合	59.6	12.8	27.6	100
一昨年度の割合				



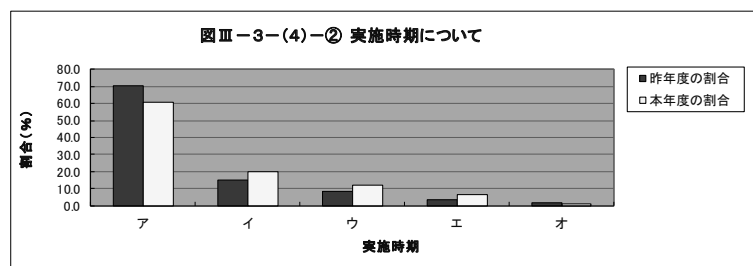
昨年度から追加した項目であるが、「実施している」が65.7%である。

② 実施時期について

実施時期をお答えください。(複数回答可)  
 ア 授業中      イ 放課後      ウ 長期休業中      エ 週休日      オ その他

表Ⅲ-3-(4)-② 実施時期について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	12	3	1	1	0	17
東北	36	15	5	3	1	60
関東	47	18	13	5	1	84
北信越	25	8	7	2	0	42
東海	31	11	6	4	0	52
近畿	29	10	5	4	0	48
中国	31	6	6	4	1	48
四国	11	5	3	3	0	22
九州	38	10	5	1	1	55
合計	260	86	51	27	4	428
本年度の割合	60.7	20.1	11.9	6.3	0.9	100
昨年度の割合	70.6	15.3	8.5	3.8	1.8	100
一昨年度の割合						



昨年度から追加した項目であるが、「授業中」が60.7%と最も多い。

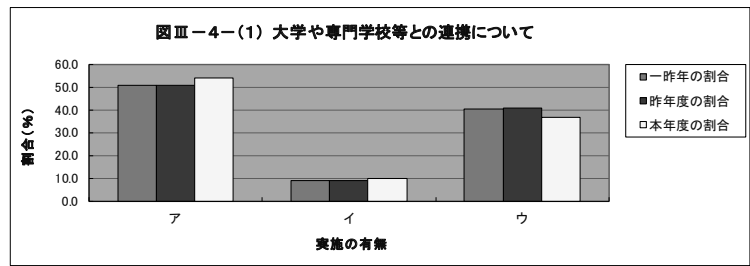
#### 4. 高・大学等連携について

##### (1) 大学や専門学校等との連携の実施について

大学や専門学校等との連携を実施していますか。  
 ア 実施している      イ 検討中 [する方向で]      ウ 実施していない

表Ⅲ-4-(1) 大学や専門学校等との連携について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	9	3	6	18
東北	43	7	23	73
関東	65	13	34	112
北信越	27	3	15	45
東海	39	5	23	67
近畿	39	4	30	73
中国	25	4	30	59
四国	11	2	14	27
九州	52	15	36	103
合計	310	56	211	577
本年度の割合	53.7	9.7	36.6	100
前年度の割合	50.8	8.7	40.5	100
一昨年の割合	50.9	8.9	40.2	100



「実施している」が53.7%である。

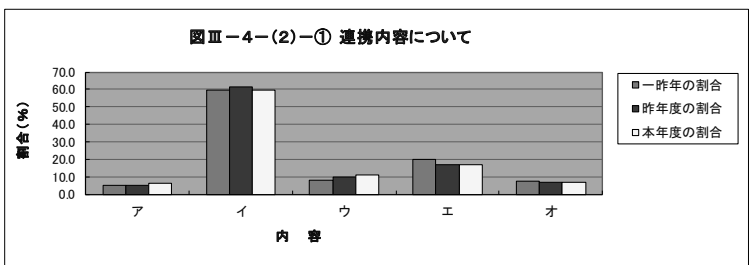
##### (2) (1) を実施している学校の実施内容について

###### ① 連携内容について

連携内容をお答えください。(3つ以内)  
 ア 単位の修得      イ 知識・技術的な支援      ウ 授業補助 (チューター)  
 エ 施設利用      オ その他

表Ⅲ-4-(2)-① 連携内容について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	0	9	1	5	0	15
東北	2	40	5	6	3	56
関東	9	54	9	15	5	92
北信越	1	25	3	7	2	38
東海	9	32	5	9	2	57
近畿	3	34	9	6	6	58
中国	1	21	6	7	3	38
四国	0	10	2	2	1	15
九州	2	41	8	17	8	76
合計	27	266	48	74	30	445
本年度の割合	6.1	59.8	10.8	16.6	6.7	100
前年度の割合	4.9	61.1	10.0	17.1	6.8	100
一昨年の割合	4.8	59.9	8.2	19.8	7.2	100



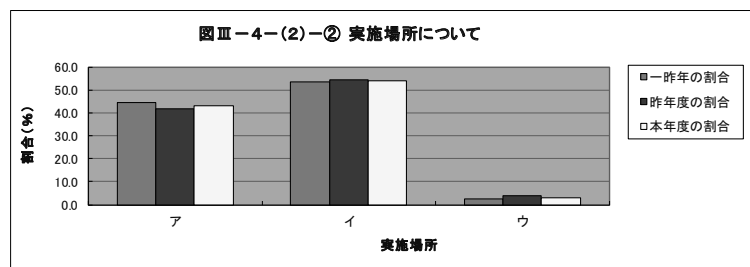
「知識・技術的な支援」が59.8%と最も多い。

###### ② 実施場所について

実施場所をお答えください。(複数回答可)  
 ア 連携先で実施      イ 自校で実施      ウ その他

表Ⅲ-4-(2)-② 実施場所について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	6	9	0	15
東北	26	29	1	56
関東	35	45	2	82
北信越	15	24	0	39
東海	24	26	2	52
近畿	24	29	4	57
中国	12	18	3	33
四国	5	8	0	13
九州	32	35	0	67
合計	179	223	12	414
本年度の割合	43.2	53.9	2.9	100
前年度の割合	41.6	54.5	3.9	100
一昨年の割合	44.4	53.3	2.3	100



「自校で実施」が53.9%である。

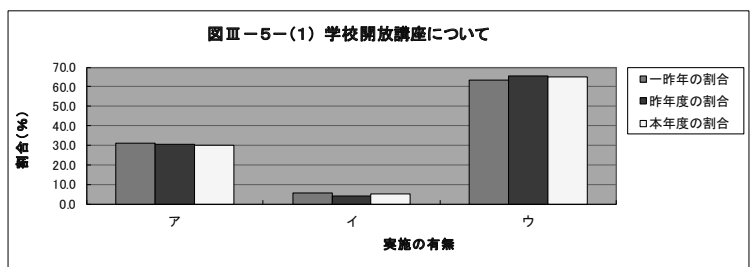
#### 5. 学校開放講座について

##### (1) 学校開放講座の実施について

学校開放講座を実施していますか。  
 ア 実施している      イ 検討中      ウ 実施していない

表Ⅲ-5-(1) 学校開放講座について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	6	3	9	18
東北	20	8	46	74
関東	45	2	66	113
北信越	8	1	37	46
東海	18	3	46	67
近畿	23	3	45	71
中国	13	2	43	58
四国	8	1	18	27
九州	32	6	65	103
合計	173	29	375	577
本年度の割合	30.0	5.0	65.0	100
前年度の割合	30.6	4.2	65.3	100
一昨年の割合	31.0	5.5	63.5	100



「実施している」は30.0%、「実施していない」のは65.0%である。

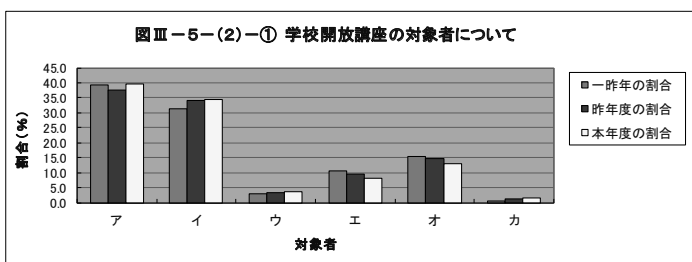
(2) (1) を実施している学校の実施内容について

① 学校開放講座の対象者について

学校開放講座の対象者をお答えください。(複数回答可)  
 ア 小学生 イ 中学生 ウ 高校生 エ 保護者 オ 一般人 カ その他

表Ⅲ-5-(2)-① 学校開放講座の対象者について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	5	3	0	0	1	0	9
東北	17	9	3	5	5	1	40
関東	27	21	2	5	14	0	69
北信越	4	3	0	0	1	0	8
東海	11	13	1	4	2	0	31
近畿	11	13	4	2	7	1	38
中国	7	5	0	1	2	2	17
四国	2	7	0	2	0	0	11
九州	24	20	0	3	3	0	50
合計	108	94	10	22	35	4	273
本年度の割合	39.6	34.4	3.7	8.1	12.8	1.5	100
昨年度の割合	37.5	33.9	3.2	9.4	14.8	1.1	100
一昨年の割合	39.3	31.2	3.0	10.4	15.4	0.7	100



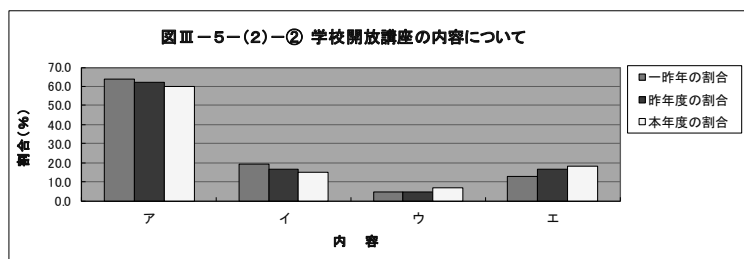
「小学生」「中学生」が多く、「中学生」が増加傾向、「一般人」「保護者」が減少傾向である。

② 学校開放講座の内容について

学校開放講座の内容をお答えください。(複数回答可)  
 ア ものづくり イ パソコン ウ CAD エ その他

表Ⅲ-5-(2)-② 学校開放講座の内容について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	6	1	0	0	7
東北	17	7	2	5	31
関東	32	6	2	14	54
北信越	6	2	0	0	8
東海	18	4	2	4	28
近畿	16	6	0	11	33
中国	10	0	3	3	16
四国	8	1	1	2	12
九州	28	8	6	4	46
合計	141	35	16	43	235
本年度の割合	60.0	14.9	6.8	18.3	100
昨年度の割合	62.1	16.4	4.7	16.8	100
一昨年の割合	63.5	19.3	4.5	12.7	100



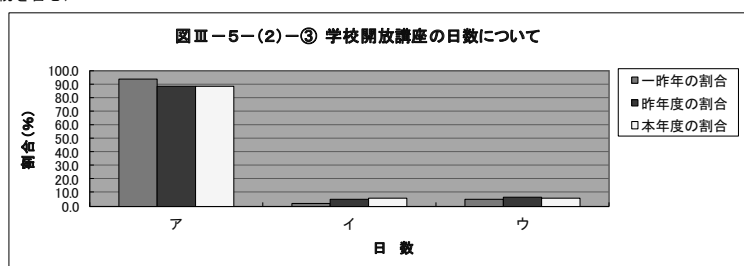
「ものづくり」が60.0%と最も多く、「パソコン」が減少傾向である。

③ 講座日数について

講座日数をお答えください。(断続を含む)  
 ア 5日以下 イ 10日以下 ウ 11日以上

表Ⅲ-5-(2)-③ 学校開放講座の日数について(断続を含む)

	ア	イ	ウ	合計
北海道	5	1	0	6
東北	18	2	0	20
関東	40	2	1	43
北信越	8	0	0	8
東海	16	2	0	18
近畿	17	2	6	25
中国	12	1	0	13
四国	8	0	0	8
九州	29	0	3	32
合計	153	10	10	173
本年度の割合	88.4	5.8	5.8	100
昨年度の割合	88.5	5.2	6.3	100
一昨年の割合	93.4	1.6	4.9	100



「5日以下」が88.4%である。



## 6. 産学連携・地域連携についてのまとめ

### (1) インターンシップについて

「実施している」が86.2%と大半である。実施している学校は2年生、学年全員で取り組む学校が多い。実施時期は、授業日実施が62.3%、長期休業中が37.7%で傾向に大きな変化はない。授業日では「10月」と「11月」実施が多いが、年によって数ポイントの変動がある。実施期間は3日以内が最も多く、また、卒業の単位として認定する学校は13.6%に留まり、減少傾向である。実施上の問題点は、「受け入れ企業の問題」が38.1%と最も多い。2022年度以降の実施対象者については、昨年までの傾向から逆転して「全員に実施している」が増加し、「全く実施しない」が減少している。感染症対策の影響から脱却する中で、状況が変化しているものと考えられる。

### (2) デュアルシステムについて

実施している学校は9.7%に留まる。実施は「科目に割り当て週毎に実施」が67.3%で増加している。実施学年は、3年または2年の単年度実施がほとんどであり、参加者については「一部の生徒」の参加がほとんどである。実施期間は「1～2ヶ月程度」が減少し、「3ヶ月程度」が増加して、初めて30.8%で並んだ。卒業の単位として認定する学校が約6割で、傾向に大きな変化はない。実施上の問題点は、62.7%が「時間割上、編成できないから」と回答している。

### (3) 地域との連携について

「実施している」が82.7%となり、昨年まで続いていた減少傾向が増加に転じた。減少の原因として考えられていた感染症対策の影響の軽減によるものと考えられる。内容については「地域貢献」が最も多く、「郷土愛の育成」は少ないものの、「地域の学校理解」「学校のPR」など多くの目的を持って実施されている。活動内容については「イベントへの参加」が最も多く、「清掃活動」「ものづくり教室」を含めると約7割である。地域の力を生徒の技術指導に生かすことの実施は62.1%で増加傾向である。地域の力としては「地場企業」が60.3%で安定している。実施時期は「授業中」が52.9%と最も多く、増加傾向である。

総合的な探究の時間（又は課題研究）での地域や外部機関との連携は、65.7%が実施している。実施期間は「授業中」が60.7%と最も多い。

### (4) 高・大学等連携について

「実施している」は53.7%で例年同様の傾向である。連携内容は「知識・技術的な支援」が59.8%と最も多い。実施場所は、「連携先」と「自校」がほとんどである。

### (5) 学校開放講座について

「実施している」は30.0%となっている。対象者は「小学生」「中学生」「一般」の順で、「中学生」の増加傾向に対し、「一般人」「保護者」は減少傾向である。講座内容は「ものづくり」が60.0%と最も多く、期間は「5日以下」が88.4%と最も多い。

#### IV 学習指導・評価について

##### ○ 調査目的

授業を進めるための基礎として授業内容や評価についてシラバスを作成している。分かる授業や生徒の学習意欲向上のためにも必要なものでもある。そこでシラバスの作成状況について調査した。また、教育の質的向上のために、生徒による授業評価の調査だけでなく、地域や保護者等の学校外部による授業評価状況についても調査した。

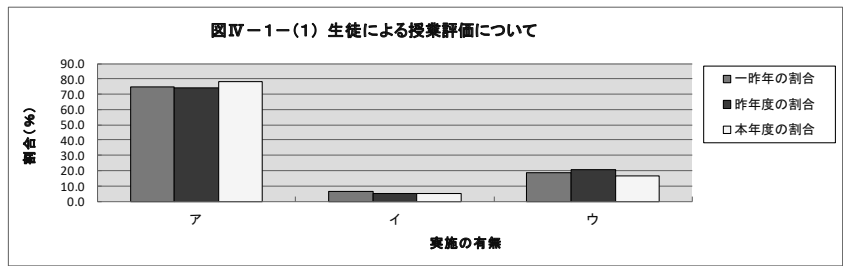
#### 1. 授業評価について

##### (1) 生徒による授業評価について

生徒による授業評価を実施していますか。  
 ア 実施している      イ 検討中      ウ 実施していない

表Ⅳ-1-(1) 生徒による授業評価について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	18	0	0	18
東北	62	1	11	74
関東	95	3	14	112
北信越	33	3	10	46
東海	35	10	23	68
近畿	60	4	8	72
中国	53	4	3	60
四国	24	1	2	27
九州	75	3	27	105
合計	455	29	98	582
本年度の割合	78.2	5.0	16.8	100
昨年度の割合	74.2	5.4	20.5	100
一昨年の割合	74.6	6.7	18.7	100



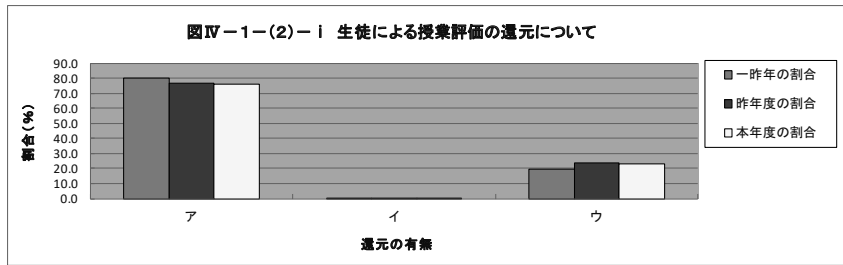
「実施している」が78.2%である。

##### (2) 実施している学校の授業への還元について

i 授業に還元できていますか  
 ア できている      イ できていない      ウ どちらともいえない

表Ⅳ-1-(2)-i 生徒による授業評価の還元について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	16	0	2	18
東北	51	0	11	62
関東	67	0	26	93
北信越	24	0	9	33
東海	24	0	11	35
近畿	41	1	17	59
中国	43	2	8	53
四国	21	0	3	24
九州	57	0	18	75
合計	344	3	105	452
本年度の割合	76.1	0.7	23.2	100
昨年度の割合	76.4	0.2	23.4	100
一昨年の割合	80.3	0.2	19.5	100

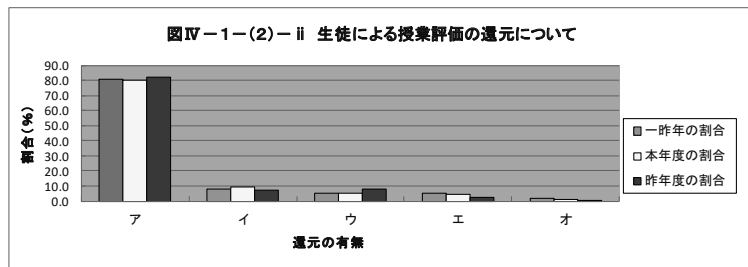


「できている」としている学校が76.1%で減少している。

ii どのように還元できていますか  
 ア 授業の教授法の改善      イ 生徒の学習習慣の改善      ウ 生徒の学力向上  
 エ 教授法の研修・共有      オ その他

表Ⅳ-1-(2)-ii 生徒による授業評価の還元について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	13	2	0	1	0	16
東北	42	3	2	1	2	50
関東	54	3	8	3	2	70
北信越	20	3	0	0	0	23
東海	20	3	2	0	0	25
近畿	34	3	2	3	0	42
中国	38	4	1	1	0	44
四国	18	1	0	2	0	21
九州	39	10	3	4	0	56
合計	278	32	18	15	4	347
本年度の割合	80.1	9.2	5.2	4.3	1.2	100
昨年度の割合	82.4	7.0	7.6	2.4	0.6	100
一昨年の割合	80.9	8.0	4.8	4.8	1.4	100



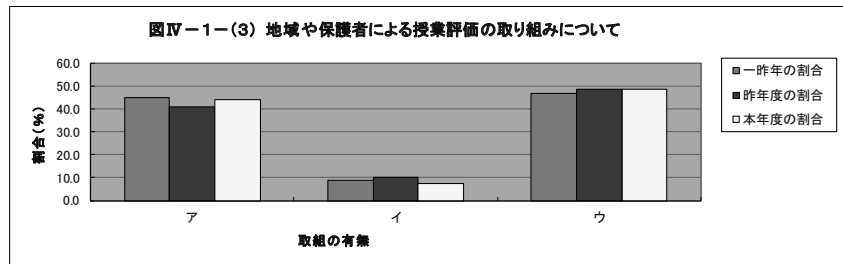
「授業の教授法の改善」が80.1%で、他の割合は少ない。

### (3) 地域の人や保護者による授業評価について

地域の人や保護者による授業評価に取り組んでいますか。  
 ア 取り組んでいる      イ 検討中      ウ 取組はない

表Ⅳ-1-(3) 地域や保護者による授業評価の取り組みについて

	ア	イ	ウ	合計
北海道	12	2	4	18
東北	29	3	41	73
関東	51	10	48	109
北信越	22	1	21	44
東海	24	8	36	68
近畿	34	7	31	72
中国	23	5	32	60
四国	17	4	6	27
九州	42	3	60	105
合計	254	43	279	576
本年度の割合	44.1	7.5	48.4	100
昨年度の割合	40.9	10.4	48.7	100
一昨年の割合	44.8	8.7	46.5	100



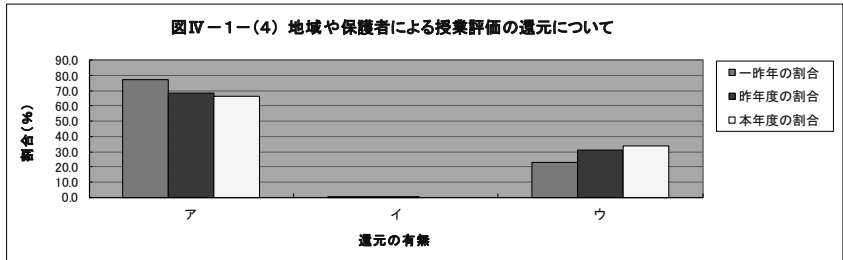
「取り組んでいる」が44.1%に増加し、「取組はない」「検討中」が減少している。

### (4) 取り組んでいる学校の授業への還元について

授業に還元できていますか。  
 ア できている      イ できていない      ウ どちらともいえない

表Ⅳ-1-(4) 地域や保護者による授業評価の還元について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	9	0	3	12
東北	22	0	6	28
関東	32	0	20	52
北信越	12	0	10	22
東海	15	0	9	24
近畿	19	0	15	34
中国	18	0	5	23
四国	14	0	3	17
九州	27	0	15	42
合計	168	0	86	254
本年度の割合	66.1	0.0	33.9	100
昨年度の割合	68.4	0.4	31.2	100
一昨年の割合	77.0	0.4	22.6	100



「できている」と回答した学校が66.1%と減少している。

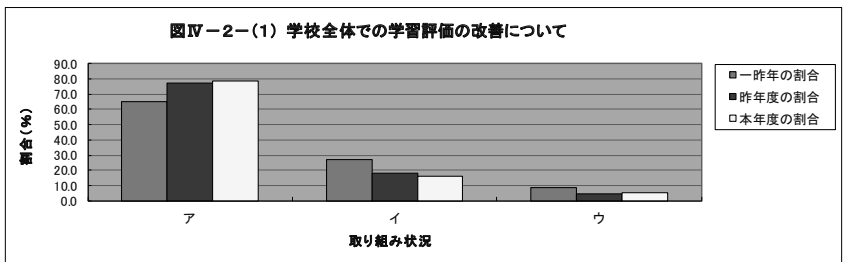
## 2. 学習評価の改善について

### (1) 学校全体での改善について

学校全体で評価の改善に取り組んでいますか。  
 ア 学校全体で取り組んでいる      イ 一部で取り組んでいる  
 ウ 取り組んでいない

表Ⅳ-2-(1) 学校全体での学習評価の改善について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	17	1	0	18
東北	67	4	3	74
関東	82	27	2	111
北信越	32	10	4	46
東海	49	13	6	68
近畿	54	17	1	72
中国	47	10	3	60
四国	24	2	1	27
九州	82	9	10	101
合計	454	93	30	577
本年度の割合	78.7	16.1	5.2	100
昨年度の割合	77.2	18.0	4.8	100
一昨年の割合	64.7	26.9	8.4	100



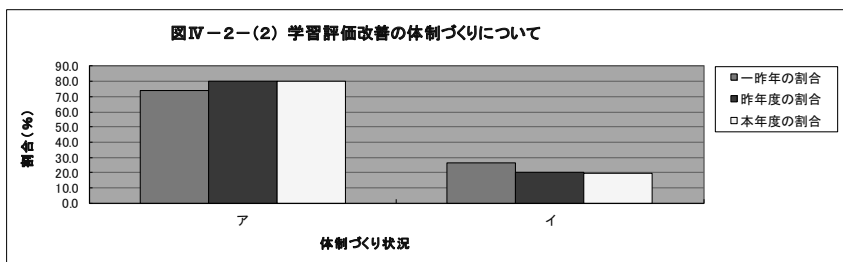
78.7%の学校が学校全体で評価の改善に取り組んでいる。

### (2) 改善のための体制づくりについて

改善のための体制づくりを行っていますか。  
 ア 行っている      イ 行っていない

表Ⅳ-2-(2) 学習評価改善の体制づくりについて

	ア	イ	合計
北海道	17	1	18
東北	65	9	74
関東	88	23	111
北信越	31	15	46
東海	49	19	68
近畿	54	17	71
中国	51	9	60
四国	25	2	27
九州	84	20	104
合計	464	115	579
本年度の割合	80.1	19.9	100
昨年度の割合	79.8	20.2	100
一昨年の割合	73.9	26.1	100



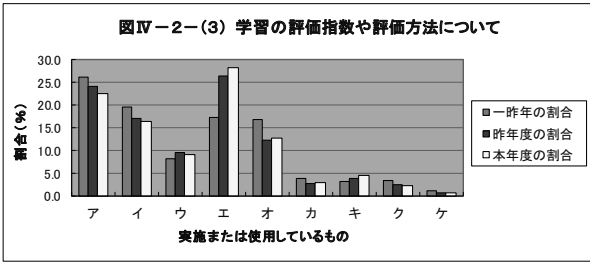
改善の体制づくりを行っている学校が80.1%である。

### (3) 評価指標や評価方法について

実施または使用している評価指標や評価方法をお答えください。(複数回答可)  
 ア 評定      イ 評点      ウ ルーブリック      エ 観点別評価  
 オ 自己評価      カ 生徒相互評価      キ パフォーマンス評価  
 ク ポートフォリオ評価      ケ その他

表Ⅳ-2-(3) 学習の評価指数や評価方法について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	合計
北海道	10	4	6	18	7	2	2	1	0	50
東北	47	35	11	61	23	3	8	1	0	189
関東	69	49	22	85	46	10	5	4	2	292
北信越	25	15	11	34	21	4	5	3	2	120
東海	52	38	18	61	16	3	13	6	1	208
近畿	46	36	28	57	24	8	18	7	2	226
中国	41	30	19	50	23	8	8	7	1	187
四国	20	18	9	22	14	4	1	1	3	92
九州	63	46	28	81	36	8	16	9	2	289
合計	373	271	152	469	210	50	76	39	13	1653
本年度の割合	22.6	16.4	9.2	28.4	12.7	3.0	4.6	2.4	0.8	100
昨年度の割合	24.3	17.2	9.6	26.5	12.4	2.8	3.9	2.7	0.6	100
一昨年度の割合	26.3	19.5	8.2	17.3	16.9	3.8	3.2	3.4	1.3	100



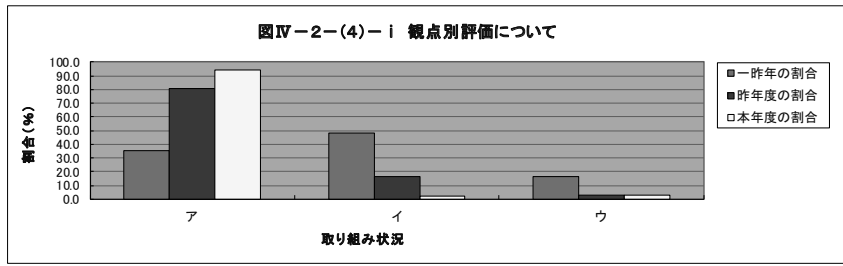
「観点別評価」「評定」「評点」「自己評価」の順に多い。延べ回答数が1653件(昨年1578件、一昨年1357件)と増えていることから、多面的な評価を行う学校が増える傾向にある。

### (4) 観点別評価について

i 観点別評価に取り組んでいますか。  
 ア 導入している      イ 検討中      ウ 取り組んでいない

表Ⅳ-2-(4)-i 観点別評価について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	18	0	0	18
東北	68	2	3	73
関東	107	1	1	109
北信越	43	1	2	46
東海	66	0	2	68
近畿	65	3	4	72
中国	53	2	2	57
四国	27	0	0	27
九州	95	5	4	104
合計	542	14	18	574
本年度の割合	94.4	2.4	3.1	100
昨年度の割合	80.3	16.5	3.1	100
一昨年度の割合	35.4	48.4	16.3	100



ii どのように取り入れていますか。  
 ・各観点に評価基準を設け、3段階で評価し成績に反映  
 ・各観点を100点法で示し、それをもとに評価評定へ総括  
 ・観点別ABCをもとに、学校独自の5段階評定基準を設定  
 ・観点別に3段階評価し、それを基に10段階評価に変換  
 ・1つの観点に対して比率が20~50%の範囲で評価  
 ・各観点を5段階で評価し、対照表から3段階に変換

5.5%の学校で導入していない。

## 3. 学習指導・評価についてのまとめ

### (1) 授業評価について

生徒による授業評価を「実施している」は78.2%で、昨年度と同様の傾向である。また、授業に還元できている学校は76.1%である。地域の人や保護者による授業評価は、「取り組んでいる」が44.1%に増加し、「取組はない」は48.4%で同程度である。また、授業に還元できている割合は66.1%と昨年より減少している。

### (2) 学習評価の改善について

学習評価の改善については、ほとんどの学校が全体または一部で取り組んでいる。そのため体制づくりが昨年より増加したが、さらなる取り組みが求められる。また、評価指標や評価方法については、「観点別評価」「評定」「評点」「自己評価」の割合が高く、新しい方法や多角的な評価を取り入れている学校が増える傾向にある。

観点別評価については、「実施している」が94.4%と前年度より大きく増加している。新学習指導要領実施から2年目となり、ほとんどの学校で取り組んでいるが32校が検討中もしくは取り組んでいない状況もある。

## あ と が き

環境の変化が激しく、情報技術をはじめとする技術の進化が速度を増す中で、現代社会においては、今の高校生が社会で活躍する年代になったときにその社会がどのようになっているのかを予測することは極めて困難です。しかし、この時代だからこそ、既存の発想にとらわれず、チャレンジ精神を持ち、新しい価値を社会に生み出すことができる、そのような人材が求められることは間違いのないところです。その要請に応えるためにも、私たち教職員は、様々な変遷を経ている工業教育にこれまで携わってきた経験と知見を生かしながら、生徒が在籍中に身につけるべき資質や能力を明確にする必要があり、さらにはそれぞれの学校が社会・地域との関わりを十分に保ちながら、それぞれの学校の教育課程がその役割をしっかりと果たしていくことが重要となります。

このことは、新学習指導要領において「社会に開かれた教育課程」という理念として掲げられていますが、それは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創っていくという目標を学校と社会が共有し、学校においては、社会人として求められる資質・能力を身につけさせるために何をどのように学ばせるのかを明確にしながら、その実現を図っていくということです。具体的には、情報活用能力や問題解決能力など学習の基盤となる能力育成の観点から教科間の横断的な教育活動の導入や、観点別評価の活用による教師側と生徒側双方の授業改善を図るPDCAサイクルの確立、地域の教育資源の活用といった地域社会との連携・協働の推進を図るなどの様々な取組が必要となってきます。

教育課程を中心に据えながら、このような様々な取組を実践していく考え方、すなわちカリキュラム・マネジメントの確立が求められる中、本調査のとりまとめがこれからの工業教育推進のための一つの指針となり、将来のスペシャリスト育成に向けた地域・産業界との連携・協働、特色ある学校づくりのさらなる推進や生徒たちの豊かな人間性の育成を進めるうえで参考になることを願っています。

末筆ではありますが、全国工業高等学校長協会並びに会員校のますますの充実・発展、会員の皆様の御健勝を祈念申し上げます。



# 資 料

調査・回答用紙

昭和57年度以降の工業に関する学科新設及び廃止状況

年度別調査項目一覧表





2023年度 教育課程委員会調査用紙(悉皆調査1)

ログアウト

[学校ポータルに戻る](#)

研究主題「教育課程」に関する調査

【入力上の注意】

- (1) 調査対象校は、全日制課程を設置する学校[全日制・定時制併設校にあつては全日制課程のみ]です。定時制課程については独立校のみです。
- (2) 複数の大学科を設置している学校は工業学科について回答してください。
- (3) **総合学科高校は回答可能部分で入力をお願いします。**
- (4) 回答途中で5分以上未入力が続くと、データが登録されません。ご注意ください。
- (5) データ入力を中断する場合は「ログアウト」をおしてから退席してください。そこまでのデータは登録されています。再度入力する際はログインしなおしてください。
- (6) 回答が完了したら「回答完了」ボタンを押してください。

I 教育課程に関する調査

1 教育課程の実施について伺います。

(1) 編成上の基本的な考え方は何ですか。(2つ以内)

- ア. 基礎的な学力の定着  イ. 専門的な技術・技能教育の充実  ウ. キャリア教育の推進  エ. 大学等進学希望者への対応  オ. グローバル化への対応  
 カ. 産業界との連携  キ. その他

(2) 教育課程の実施にあたって、特に取り組む内容は何ですか。(3つ以内)

- ア. 基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用  イ. 学習習慣の確立  ウ. 伝統や文化に関する教育  エ. 環境保全に関する教育  オ. 自他の生命を尊重する精神の涵養  カ. 食育の推進  キ. 安全教育の推進  ク. 言語能力の育成  ケ. 理数教育  コ. 道德教育  サ. 外国語教育  シ. 職業教育  ス. 主権者教育  セ. 消費者教育  ソ. 情報教育  タ. その他

(3) 卒業までの履修単位について伺います。

① 学科・コースによって異なる場合は単位数を代表的な学科・コースについて単位数を記入してください。

	全員履修科目単位数		選択科目単位数(最大)		総合的な探究の時間の単位数 (代替は含まない)	課題研究の単位数(代替を含む)
	共通科目	専門科目	共通科目	専門科目		
総計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

② 3年間または4年間の履修総単位数は何単位ですか。

\_\_\_\_\_ 単位(HR活動の時間数を含んで回答してください)

③ 卒業に必要な科目の修得単位数は何単位ですか。

\_\_\_\_\_ 単位

(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について伺います。

注: 選択の有無により単位数が変わるかと思ひます。選択した場合の単位数で回答してください。

① 実施予定単位の検討状況を教えてください。

- ア. 決定済  イ. 検討中

② 数学の予定または決定の単位数をお答えください。

数学 I	数学 II	数学 III	数学 A	数学 B	数学 C
_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位

③ 理科の予定または決定の単位数をお答えください。

科学と人間生活	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	地学基礎	地学
_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位	_____ 単位

(5) 進学希望者の指導について

① 進学希望者の指導について教育課程上の対応をしていますか。

- ア. はい  イ. いいえ

② ①でアと回答した学校に伺います。

i どのような対応をしていますか。(複数回答可)

ア. 選択教科  イ. コース又は類型で指導  ウ. その他

ii iでアと回答した場合の選択教科・科目名(複数回答可)

ア. 国語  イ. 数学  ウ. 英語  エ. 物理  オ. 化学  カ. 地歴・公民  キ. その他

iii iでアと回答した場合の進学を考慮した3年間での選択教科・科目の単位数

ア. 4単位以下  イ. 6単位以下  ウ. 8単位以下  エ. 10単位以下  オ. 11単位以上

③ 教育課程以外で何か対応していますか。

ア. はい  イ. いいえ

④ ③でアと回答した学校に伺います。

i どの時期に対応をしていますか。(複数回答可)

ア. 早期もしくは放課後の課外授業で対応  イ. 長期休業中  ウ. その他

ii iでアと回答した場合の選択教科・科目名(複数回答可)

ア. 国語  イ. 数学  ウ. 英語  エ. 物理  オ. 化学  カ. 地歴・公民  キ. その他

(6) 大学入試、外部検定試験について

① 大学入学共通テストを受験していますか。

ア. はい  イ. いいえ

② ①でアと回答した学校に伺います。

i 昨年度の受験者は何名ですか。(過年度卒も含む)

ア. 5名以内  イ. 6名から10名  ウ. 11名以上  エ. 21名以上

ii どのような対応をしていますか。

ア. 教育課程上で対応  イ. 教育課程以外で対応

iii 対応している教科・科目名(複数回答可)

ア. 国語  イ. 数学  ウ. 英語  エ. 物理  オ. 化学  カ. 地歴・公民  キ. その他

iv 実際に受験した教科・科目名(複数回答可)

ア. 国語  イ. 数学  ウ. 英語  エ. 物理  オ. 化学  カ. 地歴・公民  キ. その他

(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて

① ICT機器の活用について

工業専門科目の座学で、ICT機器の活用についてお答えください。

ア. よく活用している  イ. 少し活用している  ウ. あまり活用していない  エ. 全く活用していない

② ①でア、イと回答した学校に伺います。

i.活用しているICT機器についてお答えください。活用方法ではありません。(複数回答可)

ア. プロジェクタ  イ. タブレット  ウ. 電子黒板  エ. スマートフォン  オ. デジタルカメラ(ビデオ)  カ. 書画カメラ(実物投影機)  キ. その他

ii.ICTを活用した授業の具体例についてお答えください(複数回答可能)

ア. プロジェクタ、書画カメラによる教材提示

イ. タブレット、スマートフォンを活用しての資料検索や調べ学習

ウ. タブレットを活用したプレゼンテーションや意見発表

エ. デジタルカメラ、ビデオを活用した動画提示

オ. タブレット、スマートフォンを活用した個別学習

カ. その他 \_\_\_\_\_

③ IoT技術についての取り組みはありますか。

ア. はい  イ. いいえ

④ ③でアと回答した学校に伺います。

具体的な取り組みをお答えください。

⑤ 人工知能(AI)についての取り組みはありますか。

ア. はい  イ. いいえ

⑥ ⑤でアと回答した学校に伺います。

具体的な取り組みをお答えください。

(8) 遠隔システムについて

① 遠隔システムを利用した授業を行っていますか

ア. はい  イ. いいえ

② ①でアと回答した学校に伺います。

具体的な状況を教えてください。

(9) GIGAスクール構想に伴い一人一台端末が配備されるなど情報機器の整備が進んできました。

① あなたの学校では一人一台端末をどのように配備していますか

- ア. 設置者(都道府県等)が配備してくれる  
イ. 設置者(都道府県等)が一部補助金を配り、個人あるいは学校単位で購入する  
ウ. BYOD(生徒が自分の個人用端末を持ち込み)で使用する

② ①に伴い今まで活用していた計算機(電子)を生徒に購入させますか

- ア. はい イ. いいえ

## II 学校改革に関する調査

### 1 学校改革・活性化について

(1) 学校改革・学校活性化で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

- ア. 学校の統合 イ. 学科の新設や改編 ウ. 入学者選抜の見直し エ. 特色ある教育課程の編成 オ. 学校評価 カ. 職員の意識改革 キ. ものづくり ク. 挨拶・服装・マナー指導 ケ. 進学指導 コ. 就職指導 サ. 資格指導 シ. 部活動 ス. 地域との連携 セ. 企業や他の教育機関との連携 ソ. その他

(2) 職員の意識改革で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

- ア. 企業の人を招いての研修会・懇談会 イ. 企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣 ウ. 職員グループによる学校の課題の研究 エ. 教員評価システムの活用 オ. 保護者、地域への授業公開 カ. 管理職による職員への積極的な情報の提示 キ. その他

(3) 長期休暇期間について伺います。

① 長期休業期間の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数について伺います。

- ア. 設定していない イ. 3日以内 ウ. 5日以内 エ. 10日以内 オ. 15日以内 カ. 20日以内 キ. 20日を超える

② 授業の内容

- ア. 通常日課の授業 イ. 資格取得のための特別授業 ウ. その他

(4) 学校目標・学校評価・グランドデザインについて伺います。

① 学校目標・グランドデザインを設定していますか。

- ア. はい イ. いいえ

② ①で「はい」と回答した学校に伺います。設定する学校目標の柱は何ですか(3つ以内)

- ア. 教科指導 イ. 教科外指導 ウ. 学校運営 エ. 生徒指導 オ. 地域連携 カ. その他

③ 学校評価について伺います

i. 評価の仕方はどのようにしていますか？(活用しているものすべて)

- ア. 生徒評価 イ. 保護者評価 ウ. 学校評議員評価 エ. 地域住民による評価 オ. 教職員評価 カ. その他

ii. どのように活用していますか

- ア. 次年度の学校目標設定に活かす イ. 生徒指導に活かす ウ. 学校PRに活用する エ. 学校運営の改善に活かす オ. その他

## III 産学連携・地域連携に関する調査

学習指導要領では、産業現場等における実習を取り入れるなどの就業体験の機会を積極的に設けることが謳われています。このことを踏まえ、現在のインターンシップへの取組と、今後の取組についてお答えください。

なお、本調査では、デュアルシステムとは連続であれば1ヶ月以上、週ごとであれば3ヶ月以上の就業体験とします。

### 1 インターンシップについて

(1) インターンシップの実施について伺います。

- ア. 実施している イ. 検討中 ウ. 実施していない

(2) (1)でアと回答した学校に伺います。(対象生徒が複数回実施している場合は主なもの)

① 実施学年

- ア. 1年 イ. 2年 ウ. 3年 エ. 4年 オ. その他

② 参加者

- ア. 学年全員 イ. 科の生徒全員 ウ. 一部の生徒

③ 実施時期

- ア. 長期休業中 イ. 授業日 月

④ 実施期間

- ア. 3日以内 イ. 4～5日 ウ. 1～2週間 エ. 2週間以上

⑤ 卒業の単位として認定の有無

- ア. する イ. しない

⑥ 実施上の問題点はどんなことですか。(3つ以内)

- ア. 受け入れ企業の問題 イ. 事前・事後の打合せ ウ. 校内指導体制 エ. カリキュラムとの関連 オ. 安全対策 カ. その他

(3) (1)でイまたはウと回答した学校に伺います。

イ. インターシップが実施できない理由は何ですか。(複数回答可)

- ア. 地域に企業が少ない イ. 費用 ウ. 指導体制 エ. 日程 オ. その他

(4) 2022年度以降の実施対象者について(全ての学校に伺います)

- ア. 全員に実施している イ. 一部の生徒に実施する ウ. 全く実施しない

## 2 デュアルシステムについて

(1) デュアルシステムの実施について伺います。

- ア. 実施している イ. 実施していない ウ. 検討中

(2) (1)でアと回答した学校に伺います。

① 実施形態

- ア. 長期休業中に実施 イ. 科目に割り当て週毎に実施 ウ. その他

② 実施学年

- ア. 1年 イ. 2年 ウ. 3年 エ. 4年 オ. 1～2年 カ. 2～3年 キ. 3～4年 ク. 3年間以上

③ 参加者

- ア. 学年全員 イ. 科の生徒全員 ウ. 一部の生徒

④ 実施期間

- ア. 1～2ヶ月程度 イ. 3ヶ月程度 ウ. 半年程度 エ. 1年以上

⑤ 卒業の単位としての認定の有無

- ア. する イ. しない

(3) (1)でイと回答した学校に伺います。

実施上の問題点についてお答えください。(複数回答可)

- ア. 受け入れ企業が少なから イ. 時間割上、編成できないから ウ. その他

## 3 地域との連携について

(1) 生徒による地域活動を実施していますか。

- ア. 実施している イ. 検討中(する方向で) ウ. 実施していない

(2) (1)でアと回答した学校に伺います。

① 主たる目的(3つ以内)

- ア. 生徒の地域理解 イ. 地域の学校理解 ウ. 学校のPR エ. 郷土愛の育成 オ. 地域貢献 カ. その他

② 活動内容(3つ以内)

- ア. 清掃活動 イ. 福祉施設等への訪問 ウ. イベント[祭りなど]への参加 エ. 交通安全指導 オ. ものづくり教室 カ. 出前授業 キ. その他

(3) 地域の力を生徒の技術指導に活かすことを実施していますか。

- ア. 実施している イ. 検討中(する方向で) ウ. 実施していない

(4) (3)でア、イと回答した学校に伺います。

① 地域の力の対象(複数回答可)

- ア. 地場企業 イ. 地域住民 ウ. 近隣の大学・高専等 エ. その他

② 実施時期(複数回答可)

- ア. 授業中 イ. 放課後 ウ. 長期休業中 エ. 休日 オ. その他

(5) 総合的な探求の時間(又は課題研究)で、地域や外部機関との連携を行っていますか。

- ① ア. 実施している イ. 討中(実施する方向で) ウ. 実施していない

② ①でアと回答された学校に伺います。実施時期(複数回答可)

- ア. 授業中 イ. 放課後 ウ. 長期休暇中 エ. 休日 オ. その他

## 4 高・大学等連携について

(1) 大学や専門学校等との連携を実施していますか。

- ア. 実施している イ. 検討中(する方向で) ウ. 実施していない

(2) (1)でアと回答した学校に伺います。

① 連携内容(3つ以内)

- ア. 単位の修得 イ. 知識・技術的な支援 ウ. 授業補助(チューター) エ. 施設利用 オ. その他

② 実施場所(複数回答可)

- ア. 連携先で実施 イ. 自校で実施 ウ. その他

## 5 学校開放講座について

(1) 学校開放講座を実施していますか。

ア. 実施している  イ. 検討中  ウ. 実施していない

(2) (1)でアと回答した学校に伺います。

① 対象者(複数回答可)

ア. 小学生  イ. 中学生  ウ. 高校生  エ. 保護者  オ. 一般人  カ. その他

② 内容(複数回答可)

ア. ものづくり  イ. パソコン  ウ. CAD  エ. その他

③ 講座日数(断続を含む)

ア. 5日以下  イ. 10日以下  ウ. 11日以上

#### IV 学習指導・評価に関する調査

##### 1 生徒による授業評価について

(1) 生徒による授業評価を実施していますか。

ア. 実施している  イ. 検討中  ウ. 実施していない

(2) (1)でアと答えた学校に伺います。

i. 授業に還元できていますか

ア. できている  イ. できていない  ウ. どちらともいえない

ii. アで答えた学校に伺います。どのように還元できていますか

ア. 授業の教授法の改善  イ. 生徒の学習習慣の改善  ウ. 生徒の学力向上  エ. 教授法の研修・共有  オ. その他

(3) 地域の人や保護者による授業評価に取り組んでいますか。

ア. 取り組んでいる  イ. 検討中  ウ. 取り組はない

(4) (3)でアと答えた学校に伺います。

授業に還元できていますか。

ア. できている  イ. できていない  ウ. どちらともいえない

##### 2 学習評価の改善について

(1) 学校全体で評価の改善に取り組んでいますか。

ア. 学校全体で取り組んでいる  イ. 一部で取り組んでいる  ウ. 取り組んでいない

(2) 改善のための体制づくりを行っていますか。

ア. 行っている  イ. 行っていない

(3) 実施または使用している評価指標や評価方法をお答えください。(複数回答可)

ア. 評定  イ. 評点  ウ. ルーブリック  エ. 観点別評価  オ. 自己評価  カ. 生徒相互評価  キ. パフォーマンス評価  ク. ポートフォリオ評価  ケ. その他

(4) 観点別評価について伺います

i. 観点別評価に取り組んでいますか

ア. 導入している  イ. 検討中  ウ. 取り組んでいない

ii. どのように取り入れていますか。記述してください。

### 2023年度 学校経営委員会調査項目(悉皆調査1)

(2023年4月1日現在の人数)

#### V 工業科教員の再任用に関する調査(悉皆調査)

(この調査項目Vは各会員校の校長先生にお願いするものです)

平成14年度より定年退職者の希望者を対象に再任用制度が導入されていますが、新規採用にも影響がでるものと考えられます。若い教員が不足している現在、今後の工業教育を推進していく上でも重要な課題であると考えます。この調査は各都道府県の現状を把握し、新規採用教諭確保をどのような視点から進めていくか、その手だてを探る資料とするものです。

あなたの学校で、2022年度末における工業科教諭の退職者は何名ですか	<input type="text"/> 名
そのうち再雇用ではなく、再任用教諭になったのは何名ですか	<input type="text"/> 名
2023年度の工業科教諭での新規採用教諭は何名ですか	<input type="text"/> 名

[注]

- 1.定時制、通信制併設の場合は、合計数を記入してください。
- 2.工業科教諭とは管理職以外の教員です。
- 3.再任教諭とは、各学校の工業科教諭の定数枠に算入されることを基本とする、以下の方々です。

(教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭)

- ①現任教諭と同等の勤務条件である教諭
- ②現任教諭の8割程度の勤務条件である教諭
- ③現任教諭の5割程度の勤務条件で、定数枠は0.5人分として算入される教諭

## VI 地域との連携等に関する調査(悉皆調査1)

調査表入力上の注意

- (1)この調査は、各都道府県における中学校等へのPRや地域との連携に関する調査です。
- (2)この調査は、入学対策委員会の調査項目です。

### 1 学校PRの形態について

(1)次の各項目について、取り組んでいるものをチェックしてください。

- ア. 学校案内パンフレット イ. 体験入学 ホームページ ウ. 学校説明会 エ. 中学校訪問 オ. 生徒研究発表会 カ. 行事への招待 キ. 地域の産業展等への出展 ク. 校内の作品展開催
- ケ. 学校紹介ビデオ ポスター コ. 親子ものづくり教室 サ. 訪問授業 シ. ロボット大会教室 ス. 中学校教員向け学校説明会・体験入学 セ. 中学校での出前文化祭

(2)その他特徴的な取り組みがあれば、ご入力ください。

### 2 地域との連携について

(1)特徴的な取り組みがあれば、実施内容をご入力ください。

実施内容
<input type="text"/>

## VII 次年度のアンケート項目に関して、ご要望があれば記述してください。

回答完了

昭和57年度以降の工業に関する学科新設状況(名称変更も含む)

(全工協会全国工業高等学校要覧より)

新設学科名	H12年度以降	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	計		
工業						1								3	3	5	1				2	1		29	45		
工学系															1									1	2		
ロボットエンジニア																								1	1		
メカニカルエンジニア																								1	1		
メカトロニクス系列							1																	1	2		
農工のくくり学									1	4														1	1		
総合									1	4			2	1	1	5								1	15		
情報技術						2		1					1	1	1									1	7		
社会基盤系																								1	1		
工業に関する																								1	1		
工業Ⅰ類							1																	1	2		
工学Ⅱ類																								1	1		
建築		1				1	1						2	2	1							1	1	1	11		
科学技術				2		1	1						1											1	6		
エネルギー系																								1	1		
ITエンジニア																								1	1		
EIエンジニア																								1	1		
AIテクノロジー																								1	1		
情報通信系列															1									1	1		
情報メディア															1									1	1		
化学工学															1									1	1		
ロボット電気																			1					1	1		
ロボットシステム						1																		1	1		
ロボット工学											1	1	1									2	6	4	15		
ロボット技術																			1						1	1	
理数工学			1									1					1	1							4	4	
理工環境						1								1	1										3	3	
理工科								1																	1	1	
理工																						1			1	1	
ユニバーサルデザイン						1																			1	1	
山形創造工学																									1	1	
やまがた創造工学									1																1	1	
薬品科学							1																		1	1	
ものづくり創造専攻																									1	1	
ものづくり機械												1													1	1	
ものづくり															2			1							3	3	
モダンクラフト																									1	1	
メカニク分野								1																	1	1	
メカニカル工学																							1		1	1	
メカトロニクス					2			1																	3	3	
メカトロ情報																									1	1	
マルチメディア系列									1																1	1	
マテリアル																									1	1	
プロダクトデザイン														1	1										2	2	
プロダクト工学					1																				1	1	
プロジェクト工学																	1	1							2	2	
物質工学						1																			1	1	
物質化学																									1	1	
普通科ベーシック群								1																	1	1	
服飾デザイン																									1	1	
福祉情報	1																								1	1	
ファッション工学																									1	1	
ファッション技術						1																			1	1	
美術デザイン																									1	1	
ビジュアルデザイン																									1	1	
ビジネスコミュニケーション									1																1	1	
パワーエレクトロニクス					1																				1	1	
士林地質	1																								1	1	
土木情報																									1	1	
土木建築							1		1				1												3	3	
土木環境システム			1																						1	1	
土木環境工学																									1	1	
土木						1	1	1					2	1										1	7	7	
土木工学										1															3	3	
土木系							1																		1	1	
土木技術						1																			1	1	
土木環境										1															1	1	
都市システム					1																				1	1	
都市工学	1				1	2	1							1	1								4	1	12	12	
都市建設																									1	1	
都市基盤工学												1													1	1	
都市環境システム																			1						1	1	
都市環境		1	1			1						1													4	4	
都市・建築																						1			1	1	
電子物質工学																							1		1	1	
電子電気		1																							1	1	
電子通信																									1	1	
電子制御																									1	1	
電子情報技術																									1	1	
電子情報					2						1	1				1	1	1			1				8	8	
電子システム	1		1			1																			3	3	
電子コミュニケーション																									1	1	
電子工業																									1	1	
電子工学						1				1			1				1	1							5	5	
電子技術																									1	1	
電子機械工学										1														1	1	2	2
電子機械	2	1	2			1	1		1					1	1								1		17	17	
電子・情報									1																2	2	
電子					1											1	1								3	3	
電子情報システム	1					1																			2	2	
電気電子システム		1				1																			2	2	

新設学科名	H12年度以降	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	計
電気電子工学																1			1						2
電気電子								1								1	1			1					4
電気テクノロジー																			1						1
電気通信										1															1
電気設備											1														1
電気情報システム	1							1											1						3
電気情報工学					1																1				2
電気情報系																		1							1
電気情報			1			3	1	1	1		1		1								2	2			13
電気システム		2		1									1	1	1						2	2			8
電気工学				1		1	1			1						1	1		1				1		8
電気建設システム												1													1
電気建設工学																			1						1
電気系							2																		2
電気技術類									1																1
電気技術		1																					1		2
電気機械							1																		1
電機応用工学				1																					1
電気エネルギー													1												1
電気・電子工学							1																		1
電気・電子	1		1	1	2	2															1				8
電気・情報技術							4									1									5
電気・建築											2														2
電気・機械									1																1
電気・エネルギー																				1					1
電気		1	1		1	3	3				1	1	4	5	6	1		1				1			29
デュアルシステム					1																				1
鉄道						1																			1
デジタル工学					1																				1
デザインシステム																									1
デザイン工学					1																				1
デザイン・絵画										1															1
デザイン					1			2		1				1	1	1									7
テクニカル工学					1																				1
テキスタイルデザイン工学														1											1
テキスタイルデザイン									1																1
テキスタイル工学																									1
通信工学																									1
地域創造工学																					1				1
素材システム																									1
素材化学																									1
創造工学									1										1	1					3
創造技術								2													1				3
創生工学																							1		1
総合電気電子システム						1																			1
総合電気	1		1																						2
総合デザイン								2																	2
総合造形				1		1																			2
総合情報							1																		1
総合工学			1				1	1																	3
総合工科																									2
総合技術				3	1	2					1	1					1	1							11
総合科学類									1																1
総合科学							1																		1
造形																			1						1
染色システム																									1
繊維デザイン												1													1
繊維デザイン																									1
繊維システム																									1
繊維工芸																									1
繊維工業																							1		1
染織技術																									1
セラミック工学																									1
セラミック化学								1																	1
セラミックアート							1																		1
セラミック															1	1									2
設備システム																									1
設備工業																									1
設備・エネルギー											1														1
製薬技術																									1
生物化学																									1
生産システム		1	1					1																	3
生産工学									1																1
生産技術				3								1													4
生産機械																									1
制御情報		1	1																						2
制御システム																									1
制御工学						1							1				1	1							5
制御技術			1																						1
生活文化																			1						1
生活工学															1										1
生活化学																									1
数理工学								1																	1
数理										1															1
新素材工学																									1
食品工業																									1
情報理数																									1
情報ビジネス						1																			1
情報電子系列								1																	1
情報電子		1	1	1	1	1			1																7
情報電気			1																						1
情報デザイン						1																	3	1	5
情報テクノロジー																									1
情報通信システム		1												1											2



新設学科名	H12年 度以降	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	計	
情報通信工学		1	1											1											3	
情報繊維																										
情報制御																										
情報処理																										
情報システム				1	1	1		1							1										5	
情報工学				1			1												1	1					4	
情報建設																										
情報ケミカル																										
情報技術分野								1						1											2	
情報機械																	1	1							2	
情報環境						1																			1	
情報科学		1	1			2																			4	
情報														1											1	
住居デザイン																										
住環境システム						1																			1	
自動車整備						1		2					1												4	
自動車工学																										
自動車機械システム				1																					1	
自動車						2		1	1				1	1	1				2						9	
システム情報									1																1	
システムサイエンス																										
システム工業							1																		1	
システム工学系																			1						1	
システム工学			1		1	1																			3	
システム機械				1																					1	
システム化学									1																1	
産業デザイン工学																							1		1	
産業デザイン							1																1		2	
産業工学									1														1		2	
産業技術Ⅱ科																										
産業技術		1				1	1																		3	
産業革新																	1	1							2	
産業							1		1																2	
材料設備			1																						1	
材料工学																										
材料技術										4									1						5	
材料化学				1										1											2	
コンピュータテクノロジー				1																					1	
コンピュータ機械工学																										
コンピュータ応用技術																										
コンピュータAI																			1						1	
コンピュータ																										
コミュニケーションシステム工学																					1				1	
高分子工学																										
高分子技術																										
交通工学			1																						1	
工芸				1																					1	
航空車両整備																										
航空工学							1																		1	
工業マイスター									1																1	
工業デザイン									1																1	
工業技術類									1																1	
工業技術	7	2		1		5	2	1			1		2	1	2	5	1	1				1			32	
工業化学								1						1	2										4	
工業Ⅱ群							2																		2	
工業Ⅰ群							2																		2	
工業Ⅱ類							1																		1	
工学Ⅰ類														1											1	
工学																									1	
建築ビジュアル						1																			1	
建築土木							3	1		1			1		1			1							8	
建築都市工学								1																	1	
建築デザイン工学																							1		1	
建築デザイン						2		2			1										1	5	1		12	
建築設備						1													1						2	
建築情報				1																					1	
建築システム	1	2	2	1																					6	
建築工学								1	1		1														3	
建築系								1																	1	
建築技術系列									1																1	
建築技術																									1	
建築環境		1	1	2																					4	
建築学																						1			1	
建築インテリア						1	1	2																	4	
建築・木材																										
建築・電気																									2	
建築・建設																1		1							1	
建設造形																										
建設システム		1																							2	
建設工業																									1	
建設工学	1	1				2			1								1	1							7	
建設技術類									1																1	
建設技術																									1	
建設環境							1																		1	
建設・電子									1																1	
建設				1	1			1	1			2		1	1	3									11	
経営システム																										
クリエイティブデザイン							1																		1	
クラフト																										
グラフィックアーツ																										
金属工学										1															1	
教養・生活																									1	
京都伝統産業																										
教育情報																							1	1	2	

新設学科名	H12年 度以降	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	計
キャリアデザイン																				1					1
キャリア技術						1														1					1
基礎工学 技術	1																								1
機械ロボットシステム																			1						1
機械類									1																1
機械プランニング																									1
機械土木											1			1	1								1		3
機械電子															1										1
機械電気システム																			1						1
機械電気						3	1	1												2					7
機械デザイン							1																		1
機械テクノロジー系列								1																	1
機械テクノロジー		1																		1					2
機械テクニカル								1																	1
機械創造																			1	1			1		3
機械造船				1													1	1							3
機械設備システム																									
機械生産システム																									
機械制御										1										1					2
機械システム	2	2	2		2	1			2	1			2			1	1				5				21
機械工学				1	1	2	2			1			1			3	2		2	1	1	1			18
機械系							2												1						3
機械技術類										1															1
機械技術																							1		1
機械加工					1																				1
機械化学																									
機械・ロボット																1	1								2
機械・電子機械							1		1					2				1		1					5
機械・電気系							1																		1
機械・電気															1										1
機械・制御			1																						1
機械・情報技術																						1			1
機械・自動車								3																	3
機械・材料工学																1	1								2
機械・建築システム																					1				1
機械・エネルギー																									1
機械	2	2	2	1	3	4	1	4			1	1	4	6	7	2	1		1			3			45
環境ビジネス			1																						1
環境土木		1		2			1				1														5
環境デザイン								1											1				1		3
環境テクノロジ				1																					1
環境設備											1														2
環境システム	1	3		1		1																			6
環境サイエンス																									
環境工学													1			1	1								3
環境建築				1																					1
環境建設工学								1																	1
環境建設	1		1		1																				3
環境技術		1				1			1	1															4
環境化学システム							1																		1
環境科学																						4	4		8
環境化学	4		1	1	1	1					1														9
環境エネルギー					1									1	1										3
環境・電気情報システム																									
画像工学・電子情報							1																		1
画像工学																									
化学デザイン																									
化学創造																							1		1
化学システム																									
化学工業														1	1										2
科学工学					1									1											2
化学系						1																			1
化学技術					1		1	1																	3
化学応用																									
化学								1																	1
海洋開発																									
開発土木																									
オートモビル工学					1																				1
応用デザイン				2																					2
応用技術	1																								1
応用化学工学																	1	1							2
応用化学																									
エネルギー技術									1																1
映像デザイン																									
インテリアデザイン																						1			1
インテリア・建築							1																		1
インテリア																									
意匠情報								1																	1
IT工学																							4	3	7
Ⅱ類																									1
合 計	29	34	35	41	31	75	69	43	38	25	22	9	40	43	52	43	26	18	23	16	23	44	29	46	854
累 計	29	63	98	139	170	245	314	357	395	420	442	451	491	534	586	629	655	673	696	712	735	779	808	854	

昭和57年度以降の工業に関する学科廃止状況(名称変更も含む)

(全工協会全国工業高等学校要覧より)

廃止学科名	H12年度以降	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計		
機械	13	29	18	25	7	16	20	20	21	8	9	5	8	4	4	8	5	5	4	4	8	4	5	24	274		
電気	11	19	23	17	5	14	27	22	19	6	6	2	7	3	3	4	2	3	5	3	8	4	2	23	238		
電子機械		7	8	4	4	9	13	5	5	2	2	1	3			4	2	3	4	1	6	11	4	8	106		
情報技術	2	2	1	3	2	3	8	6	1	3			2			3		1	3	3	1	7	2	7	60		
建築	4	6	10	5	4	8	12	9	6	5	2	3	1	3	1	2	3			1		6	1	6	98		
機械工学							2	1				1		1	1	1									4	11	
メカトロニクス																1										4	5
電子工学		1					1	2			1			1	1	1				1	2	1			3	15	
IT工学																			1							3	4
環境化学		2		1		1	2						1	1	1										3	12	
情報電子	1	2	1				1	1								1									3	10	
電気電子											1									1					3	5	
ロボット工学								1																	3	4	
機械加工																									2	2	
工業化学	7	4	6	12	2	2	10	2	2		2		1			1	1			1	1		1	2	57		
土木	6	3	5	6	5	5	8	3	8	3	5	1	3		1	1			2	1	1		4	2	72		
自動車	1			2	2	1	1	5	2		1	1	2	2	1	2		1	1		1			2	28		
システム工学									1							1	2								2	6	
制御工学												1		2	2	1									2	8	
電気技術					1	1																			2	4	
土木工学							1		1										1						2	5	
建築技術																									1	1	
環境サイエンス																									1	1	
機械創造																									1	1	
機械創造工学																									1	1	
電子情報工学																									1	1	
土木防災																									1	1	
物質工学																									1	1	
産業デザイン																									1	1	
電子ロボット																									1	1	
都市環境工学																									1	1	
数理工学																									1	1	
エネルギーシステム																									1	1	
エネルギー化学																									1	1	
デザイン工学																									1	1	
グラフィックデザイン																									1	1	
環境化学システム																									1	1	
産業創造																									1	1	
建築都市工学																									1	1	
建築設備																									1	1	
情報科学																									1	1	
建設																									1	1	
インテリア		1																							1	21	
環境工学																									1	1	
環境建設																									1	1	
機械制御																									1	2	
建設技術																									1	3	
建設工学																									1	5	
建築環境																									1	4	
建築工学																									1	6	
建築デザイン																									1	2	
工業デザイン																									1	8	
システム化学																									1	3	
自動車工学																									1	4	
情報デザイン																									1	1	
電気情報																									1	6	
電子情報	1																								1	10	
メカニカルテクノロジー																									1	2	
メカニク																									1	3	
理工																									1	3	
化学工業	2																								1	19	
化学システム																									1	2	
電気システム																									1	3	
セラミック																									1	5	
環境建設	1																								1	4	
デザイン																									1	14	
テキスタイルデザイン																									1	2	
環境技術																									1	1	
工業技術																									1	12	
機械システム																									1	17	
情報システム																									1	7	
化学工学																									1	8	
電子	7	7	5	7	5	10	5	3	4		2		2	1		1	1		1	1	3	1	1	1	66		
物質工学																									1	1	
土木建築																									1	2	
情報繊維																									1	1	
建設設備																									1	1	
工業																									1	1	
総合技術	3																								1	48	
理数工学																									1	14	
キャリア技術																									1	3	
創造工学																									1	1	
I類																									1	1	
II類																									1	1	
III類																									1	1	
印刷																									1	1	
印刷化学																									0	0	
印刷工業																									0	0	
インテリアデザイン																									1	1	
塗装																									1	1	
運輸																									1	1	
エネルギー技術																									1	1	

廃止学科名	H12年度以降	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計	
エレクトロメカニクス								1																	1	
園芸科学								1																		1
応用化学							1																			1
応用デザイン							1																			1
カー・テクニカル															1											1
開発工学		1																								0
開発土木		1																								1
化学・デザイン											1				2											3
化学応用		1	1									1				2										2
化学技術		1	1				1	1																		4
科学技術							1																			1
カラーリングアーツ							1																			1
環境・電気情報システム	1	1																								2
環境エネルギー																			1							1
環境科学									1			1														2
環境クワイエット								1																		1
環境工学系列									1																	1
環境システム					1	1				1										1						4
環境土木								1						1												2
機械・電気									1				1				1	1								4
機械技術					1		1	1																		3
機械工作					1																					1
機械製図					1																					1
機械設備システム					1																					1
機械テクノロジー								1																		1
機械テクノロジー系列									1																	1
機械電気								1							1											2
機械プランニング																			1							1
機関								1																		1
京都伝統産業									1																	1
金属加工																										0
金属工学																										0
金属工業					1																					1
金属工芸					1																					1
クラフト																					1					1
グラフィックアーツ							1	1																		2
建設システム		2	2					1																		5
建設デザイン							1									1										2
建築・木材																1										1
建築システム		1																								1
建築テクノロジー															1											1
原動機																										0
原動機械					1																					1
工学Ⅰ類									1																	1
工学Ⅱ類									1																	1
工業1群																	1									1
工業2群																	1									1
工業Ⅰ群																	2									2
工業Ⅱ群																	1									1
工業科学																										0
工業家庭																										0
工業経営																										0
工業計測																										0
航空車両整備																			1							1
航空整備																										0
工芸																										0
交通工学					1		1																			3
高分子技術	1																									1
高分子工学	1																									1
国際工学																										1
国際情報技術								1																		1
コンピュータ学												1														1
コンピュータ応用技術						1	1																			2
コンピュータ情報技術																					1					1
材料・設備								1																		1
材料技術								1	1	1		1														4
材料システム											1															1
産業															1											1
産業機械					1			1																		2
産業技術												1		1												2
産業工学																					1					1
産業デザイン										2																2
色染化学										1																1
システム機械						1	1																			2
システム技術								1																		1
システム工業																	1	1								1
システム情報																1										1
自然科学									1																	1
自動車・造船																										0
自動車エンジニア									1																	1
自動車整備科									1																	1
自動制御						1		1																		2
写真工芸																										0
住環境工学																	1									1
住居デザイン																										1
情報		1	1					1							1				1							6
情報機械									1																	1
情報コミュニケーション									1							2										3
情報システム工学																	1									1
情報処理											1															1
情報通信工学		1							1																	2
情報電気									1																	1
情報マルチメディア										1																1
情報理数															1											1
食品化学								1																		1

廃止学科名	H12年度以降	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
食品工業																									0
水中土木																									0
数理解環境									1																1
数理システム									1																1
数理情報									1					1											2
生活工学									1									1							2
制御									1																1
制御システム								1																	1
生産機械								1																	1
生産技術									1							1									2
生産システム				1					1				1						1						4
生物科学								1																	1
精密機械								1																	0
製薬技術								1																	1
設計計測																									0
設備工学				1			1																		2
設備工業							1	3	2			1	1												8
設備システム		1	1				2				1														5
繊維								1																	1
繊維工学			1				1						1												3
繊維工業							1																		1
繊維工芸																									0
繊維システム								1	1																2
繊維デザイン								1																	1
染織																									0
染織技術																									0
染織デザイン																				1					1
総合学																			2						2
総合工学							1									1									2
総合情報								1																	1
総合電気																	1								1
総合電気電子システム									1																1
創造技術																	1								1
造船			1	1		1												1							4
素材化学		1																							1
第二機械																									0
第二機械																									0
地域産業										1															1
地質工学	2																								2
図案																									0
通信																									0
通信工学																									0
テキスタイル															1	1									2
テキスタイル工学							1							1											2
テキスタイルデザイン工学									1																2
デザイン工学								1						1											2
電気・情報技術																	1				1				2
電気・電子			1				1																		2
電気・電子機械												1													1
電気エネルギー		1						1											1						3
電気化学	1																								1
電気工学							1																		1
電気工事																									0
電気情報システム				1															1						2
電気応用システム									1																1
電気設備																			1						1
電子・電気									1																1
電子技術							1																		1
電子計測																									0
電子工業	1	1					2		1																5
電子コミュニケーション																			1						1
電子材料																									0
電子システム															1										1
電子通信									1																1
陶器科学技術							1																		1
時計計器																									0
都市工学				1			1		1			2	1	1	1	1									9
都市デザイン							1																		1
土木地質					1	1																			2
土木地質工学																									0
人間社会								1																	1
美術																									0
プロダクトデザイン															1	1									2
無線通信																									0
メカトロ機械		1																							1
木材工芸																									0
モダンクラフト				2																					2
ものづくり															1				1						2
薬学									1																1
薬業			1						1																2
薬業経営																									0
薬品科学							1																		1
薬品製造																									0
薬品分析																									0
やまがた創造工学															1										1
ユニバーサルデザイン																			1						1
窯業																									0
窯業機械																									0
理工科									1																1
合計	67	98	98	108	50	111	154	123	120	38	43	28	42	51	61	70	21	35	37	25	41	50	27	149	1647
累計	67	165	263	371	421	532	686	809	929	967	1010	1038	1080	1131	1192	1262	1283	1318	1355	1380	1421	1471	1498	1647	



教育課程委員会 年度別調査項目一覧表

年 度	調 査 項 目	調査対象
平成 23 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程・学科編成について 2 教育制度・学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 24 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 25 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 26 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 27 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 28 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 29 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 30 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
令和元年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
令和 2 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
令和 3 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
令和 4 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
令和 5 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査

